

忙しいオーナー様でも安心!

賃貸マンション管理のことなら JSCにお任せください!

こんな悩みありませんか?

Case 1
空室がなかなか決まらず困っている

Case 2
家賃の滞納で困っている

Case 3
毎月の管理費や固定経費が高くて困っている

Case 4
現在依頼している管理会社に満足できずに困っている

JSCが行う3つの強み

管理手数料は家賃の3%

当社の管理手数料は、一般的な相場よりも低い家賃の3%、家賃5万円以下の物件は1室1500円とリーズナブルです。

迅速で誠実な対応、こまやかな報告

トラブルに素早く誠実に対応。報告書も毎月お送りします。オーナーの経済的・心理的負担を高める対応や提案は行いません。

高い客付け力で空室を作らない

中立公正な独立性の強みを生かし、幅広い入居者情報入手。集客戦略などの改善まで踏み込み、仲介会社とともに良質な客付けを行います。

対応エリア ▶ 大阪府全域・兵庫県神戸市・西宮市・芦屋市・三宮市・尼崎市・奈良県奈良市・生駒市

資料請求
無料相談
無料見積
お気軽にお問い合わせください。

医師・会社経営の取引オーナー多数!
オーナー様最優先でサポートします!

今なら! ご成約特典として**3カ月管理料無料!**

まずは下記までお気軽にご相談ください

ホームページはこちら

06-4708-3703

株式会社 JSC



受付/9:00~18:00 定休日/土曜・日曜・祝日 メールアドレス/jsc@hop.ocn.ne.jp

大阪市中央区備後町4丁目3番6号アスティナ御堂筋本町3階

大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第52巻第4号

発行所
〒569-8686 高槻市大学町 2-7

電話 072-682-6166 FAX 072-682-6636

発行者 安藤嗣彦 発行部数 6,200部

URL http://www.jinsenkai.net

夏本番!

令和3年度総会が開催されました



学校法人大阪医科薬科大学
大阪医科大学
(現・大阪医科薬科大学)

創立100周年
記念事業募金
— 病院新本館建築 —



文字通り、ゼロからの出発
何も無い更地に、学舎をつくる。重機などを
満足に調達できない中、多くの作業工程は学
生と職員による「手作り」。その姿は「人間の
手を介した医療」の象徴のようにも映ります。

since 1927 OMC History

- 1926 大正15年 大阪高等医学専門学校設立認可願提出
1927 昭和2年 財団法人大阪高等医学専門学校設置認可
1929 昭和4年 大阪高等医学専門学校開校認可(修業年限5年)
1930 昭和5年 大阪高等医学専門学校附属看護婦学校設立認可
1935 昭和10年 本館、解剖館、別館、附属病院、臨床講堂竣工
1941 昭和16年 三島病院(附属病院)開院
1946 昭和21年 本館屋上塔に大時計を設置
1948 昭和23年 新講堂と生理学実習室竣工
1950 昭和25年 大阪医科大学設置認可(旧制大学)
1951 昭和26年 大阪医科大学 予科設置
1952 昭和27年 医学部開学認可
1956 昭和31年 附属看護婦学校(新制)開校
1959 昭和34年 学校法人大阪医科大学認可(組織変更による)
1965 昭和40年 学校法人高槻高等学校認可
1968 昭和43年 附属看護婦学校(新制度乙種)設置認可
1975 昭和50年 大阪医科大学設置認可(新制大学)現在に至る
1977 昭和52年 大阪高等医学専門学校廃校
1978 昭和53年 学位規程制定認可
1982 昭和57年 大阪医科大学大学院医学研究科設置認可
1990 平成2年 大阪医科大学進学課程設置認可
1994 平成6年 京都大学化学研究所跡土地建物と等価交換
1997 平成9年 講義実習棟竣工
創立50周年記念式典開催
大阪医科大学附属看護婦専門学校設置認可
体育館竣工
大阪医科大学附属看護婦専門学校3年課程(全日制)設置認可
総合研究棟竣工
特定機能病院承認
本館・図書館棟竣工
創立70周年記念式典開催



- 2003 平成15年 別館が国の有形文化財に登録
2005 平成17年 大阪医科大学附属看護婦専門学校新校舎竣工
2006 平成18年 病院7号館竣工
2007 平成19年 新講義実習棟竣工
2009 平成21年 歴史資料館設置
2012 平成24年 創立80周年
2013 平成25年 大阪医科大学健康科学クリニック開設
2014 平成26年 大阪医科大学看護学部設置認可
2015 平成27年 大阪医科大学附属看護婦専門学校閉校
大阪医科大学大学院看護学研究科設置認可
学校法人大阪医科大学と学校法人高槻高等学校の法人合併
大阪医科大学訪問看護ステーション開設
大阪医科大学三島南病院開設
中央手術棟竣工
学校法人大阪医科大学と学校法人大阪薬科大学の法人合併
創立90周年記念式典開催
関西BNCT共同医療センター竣工
2021 令和3年 大阪薬科大学と統合「大阪医科薬科大学」に改名



2027



ご支援のお願い

大阪医科大学(現・大阪医科薬科大学)は、私立大学として篤志家によって設立され、卒業生のお力添えをいただきながら、維持・運営され、成長してきた歴史があります。皆さまの温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

要項

- 募金目的 大学病院新本館建築に係る資金の一部、並びに学生支援体制の充実を図る
募金目標額 10億円
募集期間 2018年10月~2027年3月
金額 個人 1口1万円、法人 1口10万円
顕彰 個人、法人ともに5口以上ご寄付いただいた方は、銘板にご芳名をしるし、末永く顕彰いたします
特典 個人10口以上、法人5口以上ご寄付をいただきました方は、健康科学クリニックの人間ドック(基本コース)1回分の無料受診券を進呈します。

申込方法

https://www.omp.ac.jp/donation/index.html



税制上の優遇措置

学校法人大阪医科薬科大学は特定公益増進法人であり、大阪医科薬科大学に対するご寄付は所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置を受けることができます。また一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。

目次

令和3年度仁泉会総会 開催報告

- P4 総会挨拶
P5 総会挨拶
P9 総会挨拶
P11 総会挨拶 本学医学部における課題
祝・入学 令和3年度大阪医科薬科大学入学宣誓式
P16 学長式辞
P18 祝辞
役員交代・就任
P19 医学部長就任のあいさつ
P20 祝・近畿大学医学部内科学教室消化器内科部門教授ご就任！
P21 受章報告
P22 受賞報告
P24 東雲出張版
P25 学会報告
仁泉ひろば
P26 「医に関する諺」
P27 会員著書 牧野文雄先生(学2期)
P28 会員著書 板野聡先生(学28期)
P29 新聞切抜 茂松茂人先生(学27期)・森脇真一先生(学35期)
P30 冊子切抜 西松能子先生(学28期)
P31 大阪医科大学女性医師の会の皆さまへ
P31 ご挨拶
P32 まんが第50回スペシャル・空前の4ページ
本部だより
P36 会員訃報
P37 お詫びと訂正
P39 編集後記

- 仁泉会理事長 安藤嗣彦
大阪医科薬科大学 理事長 植木 實先生
大阪医科薬科大学学長 佐野浩一先生
大阪医科薬科大学医学部長 内山和久先生
大阪医科薬科大学学長 佐野浩一
仁泉会理事長 安藤嗣彦
医学部学部長 内山和久
西田直生志先生(学34期)
末澤慶昭先生(学19期)
大森英夫先生(学25期)
出原啓介先生(学60期)
黒川四郎(医学部5回生 文芸部)
東 治人(学37期)
西村 保(学4期)

- 福本敏子(学24期)
喜田照代(学45期)
ザ・ぼん太(学31期)

令和3年度 仁泉会総会 開催報告

6月27日(日)母校新講義実習棟P101講義室にて令和3年度仁泉会定期総会が開催されました。

当日の出席者は49名(Zoom参加者含む)で、午後3時より開催されました。総会議長は増井裕嗣先生(学29期)が選出され、令和2年度の事業報告、令和3年度の事業計画及び収支予算の報告がなされました。総会議案として、令和2年度収支決算案をはじめ、役員改選等の審議がなされ原案通り可決承認されました。

本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為に、場所を兵庫から母校へと変更し開催致しました。

来年度は5月の最終日曜日に大阪にて開催予定です。

当日の安藤理事長のご挨拶と植木 實理事長、佐野浩一学長、内山和久医学部長より母校の近況報告をいただきましたので掲載させていただきます。

総会挨拶

仁泉会理事長 安藤嗣彦

コロナ禍の診療で何かと気苦労の多い昨今ですが、本日は貴重な休日にもかかわらず、令和3年度の仁泉会総会にご参集いただき誠にありがとうございます。



緊急事態宣言が解除されたとはいえ、大阪府にはまん延防止等重点措置が発動中で、大阪府の医療状態も尚油断できる状態ではありません。大阪府医師会長の茂松茂人先生(学27期)をはじめ同窓の諸先生方の奮闘に敬意を表します。

このような時期に仁泉会総会を開催する事は誠に心苦しい事ですが、ご存じのように仁泉会は一般社団法人であり、年に1回の総会開催とその結果を大阪府に報告する必要があり、何卒ご理解の程お願いいたします。

本日はご多忙にもかかわらず、大阪医科大学より理事長の植木 實先生、学長の佐野浩一先生、医学部長の内山和久先生ご来席いただき誠にありがとうございます。先生方には現在の母校の現状についてご講演いただく事になっております。ご出席の先生方におかれましては楽しみにして下さい。

さて、本日の総会は大阪薬科大学との完全統合後の、初の仁泉会総会となります。本年度の医学部入学の生徒は、大阪医科大学の1期生となると共に、仁泉

会の学生会員として入会していただく事となり卒業後は大阪医科大学から続く76期生として医療に従事されます。大阪医科大学仁泉会も今後は必然的に大阪医科大学仁泉会と名称の変更が必要になって来ると考えております。本日の式次第の中にありますように、仁泉会の名称変更に関してお時間をいただきますので、討論いただきたく思います。

最後に仁泉会活動を支える屋台骨といっても過言ではない、支部会クラス会の開催がコロナ禍の影響で皆無に近い状態が続いております。のみならず、総会での懇親会が2年続けて中止となりました。断腸の思いです。コロナの終息を祈るばかりです。来年の総会では懇親会が開催できる事を祈念しつつご挨拶とさせていただきます。



総会挨拶

学校法人大阪医科大学 理事長 植木 實先生

本日は、仁泉会総会にお招きに与り、ありがとうございます。皆様には平素から本学のためにお力添えを賜り、感謝申し上げます。



今年度も、昨年に引き続きましてコロナ禍の影響を受け、自粛、縮小した総会になりましたことは残念に思います。

しかし、会員の皆様にはお元気でコロナ感染対策をしつつ医療現場でご活躍され、地域医療に貢献されておられますこと嬉しく存じます。

今日の総会では、去る4月1日に大学統合して誕生しました大阪医科大学の新しい学長と医学部長共々ご挨拶をするようご下命をいただいておりますので、3人から、『学校法人大阪医科大学の展開-ニューノーマル社会を見据えて-』と題して、その中の「I. コロナ禍における法人の運営・財政並びに病院新本館建築の進捗」と「IV. まとめ【本法人の展開】を私からお話しさせていただき、「II. 新生 大阪医科大学の教育・研究体制」を佐野学長から、「III. 本大学医学部における課題」を内山医学部長からお話しさせていただき、それぞれご挨拶とさせていただきます。

はじめに、大阪医科大学と大阪薬科大学は、文部科学省から認可を受け、本年4月1日に大学統合し、大阪医科大学が誕生しました。統合の目的は「次世代を担う良質の医療人の養成、並びに医薬看が連携・融和する先進的医療体制の構築・提供を目指し、特色ある学際的教育・研究と新たなチーム医療教育を推進するため、3学部が多様な人材が集う医療系総合大学を構築する」であります。学是は大阪医科大学の『至誠仁術』を踏襲しております。法人のシンボルマークも決定し、大学名の英語表記の頭文字“OMPU”を象ったものになっております。見方によってはハートにも、血管の波紋のようなものにも見えます。この新しいシンボルマークをモチーフにした襟章(バッジ)も作製しました【図1】。

新しい学歌は、作詞を京都大学の名誉教授であり歌会



【図1】

始などで選者をされている歌人としてもご著名な永田和宏先生に、作曲はNHKの音楽プロデューサーをされるなど作曲家・編曲家として有名な千住明先生に引き受けていただきました。素晴らしい学歌ですので、一度お聞きいただく機会を設けたいと考えております【図2】。

大阪医科大学 新学歌

一 風さゆる 流の川岸 歩みつつ 若者よ 生命の不思議に 魅せられて 世界の知へと 進むべし 医学業学 相携へて 病む人にこそ 耳傾けよ 若き日々を ここに集はむ ああ北風の われらが母校	二 はるかなる 生駒山脈 霞みつつ 若者よ 生命の輝に 触れながら 世界へ 開き 発すべし 医学業学 相携へて 病む人にこそ とともにあるべし 若き日々を とともに語らむ ああ北風の われらが母校	三 みどりなす 加茂勢の山を 眺めつつ 若者よ 生命の重みを 受け止めて 医療を拓く 人となれ 医学業学 相携へて 病む人にこそ やさしく包め 若き日々を とともに進まむ ああ北風の われらが母校
--	--	--

ああ北風の われらが母校

作 詞 永田 和宏 先生 ・JT生命誌研究館 館長 ・京都大学 名誉教授 ・京都産業大学 名誉教授 ・細胞生物学者 ・歌人(歌会始の撰 選者)	作曲・編曲 千住 明 先生 ・作曲家 編曲家 ・音楽プロデューサー ・数々のCM、テレビドラマ、映画などの映像音楽等を幅広く手掛る
---	---

【図2】

この度の大学統合に伴い、薬学部が本部キャンパスから離れていることから、近隣の土地を探していたところ、安満遺跡公園のそばに1万平米ほどの土地が見つかり、購入(約30億円)しました。将来、薬学部の臨床に近い分野を移すことになるのではないかと考えております。

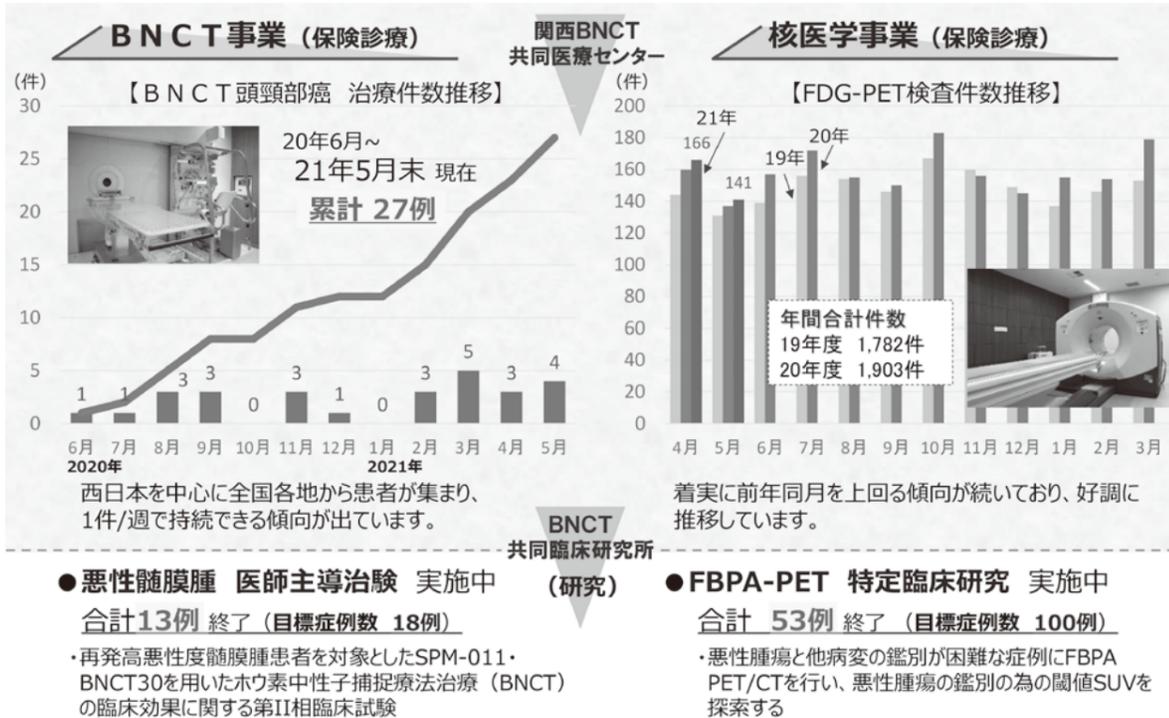
次に、高槻中学校・高等学校ですが、法人合併と創立80周年を記念し、5か年計画で企画されたキャンパス全面整備事業は、全工程が無事完遂しました。第1期工事の高校校舎建築から始まり、第2期は図書館や300人収容可能な中ホール、ダイバートなども行える小講堂などに加え、第3期はシンボル塔を含む管理棟が竣工しました。今回の全面整備により、本校の教育向上に資する施設になったと考えています。平成29年に男女共学となり、偏差値も非常に上がって、第1期生として入学された女子生徒は今では高校2年生になりました。男子生徒もいい刺激を受けており、あと2、3年経ちますと大学進学率も更に上がってトップクラスの進学校になると予測されます。

本法人の重要な事業であるBNCT(ホウ素中性子捕捉療法)を行う関西BNCT共同医療センターは、世界でも本施設と

東北の病院にあるだけで、本大学病院が世界に誇る治療施設であり、海外からも非常に注目を集めています。昨年6月1日に“進行した頭頸部癌”が保険適用になりました。主にはホウ素薬剤費として概ね178万円、照射技術料は238万円と高額となっており、治療には合わせて500万円弱を要します。月に2~3例ほどのペースで治療が行われており、現在までに27例が実施され、効果を上げています。この治療は追跡調査が必要とされ、予後の良くなると見込める症例を選んで進めております。しかし、我々の主目的は“進行した脳腫瘍”への治療であり、現在、保険適用への申請手続きを進めております。悪性髄膜腫の医師主導治験については、現在までに13例が終了し(目標症例数18例)、順調に進んでいます。また、特定臨床研究として実施中の新しい腫瘍診断用FBPA-PETは、従来のFDG-PETよりもがんの鑑別が更にはっきりするものです。同センターは通常のPET検査も行っており、毎月150例ほど実施され、その件数は年々増加しており、このような診断と治療の状況から関西BNCT共同医療センターの発展が見てとれます【図3】。

次に、パンデミックを引き起こしている新型コロナウイルス感染症(COVID-19)ですが、最近、変異株の出現による重症化や低年齢化が進み、その対策として大規模接種センターや職域接種等の形でワクチン接種が急ピッチで進められています。政治面では、外国へのワクチン供与の一方で、オリンピック、パラリンピックの開催の是非についても議論的です。

関西BNCT共同医療センター・BNCT共同臨床研究所



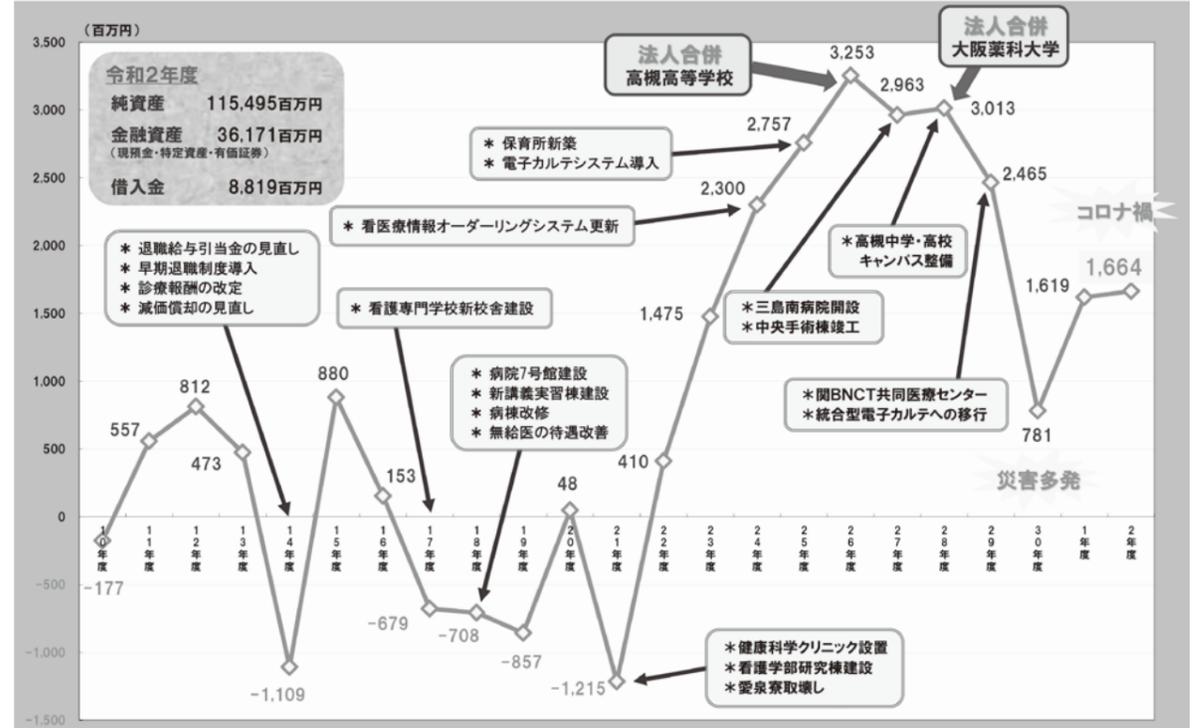
【図3】

コロナ禍中やポストコロナにおけるニューノーマルが現実になっており、マスクの常時着用やソーシャルディスタンスの確保、ワクチン接種証明書の発行などに加え、学校においてはオンラインで授業が行われ、また企業では在宅勤務が推奨されるなど、新しい社会常識が生み出されています。

ここで、本大学病院の現状を申しますと、大阪府・高槻市からの強い要請と地域社会からの負託に応える観点から、コロナ感染症の重症患者を受け入れてきました。最大14床、ICUのほとんどをそれに充てる形で受け入れを行いました。ICUでの延べ患者数は約200人で、ECMOを用いた患者は6名です。この間、院内に対策本部を立ち上げて職員への感染症教育や入院患者へのPCR検査実施等、感染対策を徹底しており、これまでに院内クラスターは発生しておりません。病院内には「COVID-19 こころのケアチーム」も設置し、専門家によるサポートを行っています。現在、ワクチンの市民や職域接種の協力依頼が6月下旬に集中しており、大阪府にはこれまでも看護師を派遣してきましたが、高槻市、茨木市、関西大学、立命館大学等から25~30万人への接種要請により、医療従事者の派遣を行っています。

令和2年度の大学病院の経営状況ですが、第1回目の緊急事態宣言が出されました5月頃は入院・外来患者がかなり少ない状況で、全てのベンチマークが落ち込みましたが、幸いにも、6月頃から回復いたしました。教職員の努力もあり、前年度並みの収支差額に回復し、安堵しています。ま

(学) 大阪医科薬科大学の事業活動収支差額の推移



【図4】

た、この年の法人全体の事業活動収支差額はプラス16億円となり、コロナ禍での回復基調と見てとれます【図4】。

本法人の大事業としての病院新本館建築は、臨床講堂と5号館を解体した後、その跡地に新本館A棟を建築中です。地下13メートルまで掘り下げた後、免震装置を十数基設置し、現在、急ピッチで工事が進んでいます。

この病院新本館は、『Super Smart Hospital~超スマート医療を推進する大学病院~』をコンセプトに、AIやロボットを駆使した機能性の高い病院を建設中で、例えば待ち時間ゼロの外来システムや、スマートフォンを使った患者さんへのサービスなどを導入予定です。一方で、“バイオフィリア”の概念を採り入れ、人が自然と触れ合うことで健康や幸せを得られるという考えのもと、自然の光を採り込み、植栽など自然素材の使用、その他、自然モチーフのアート



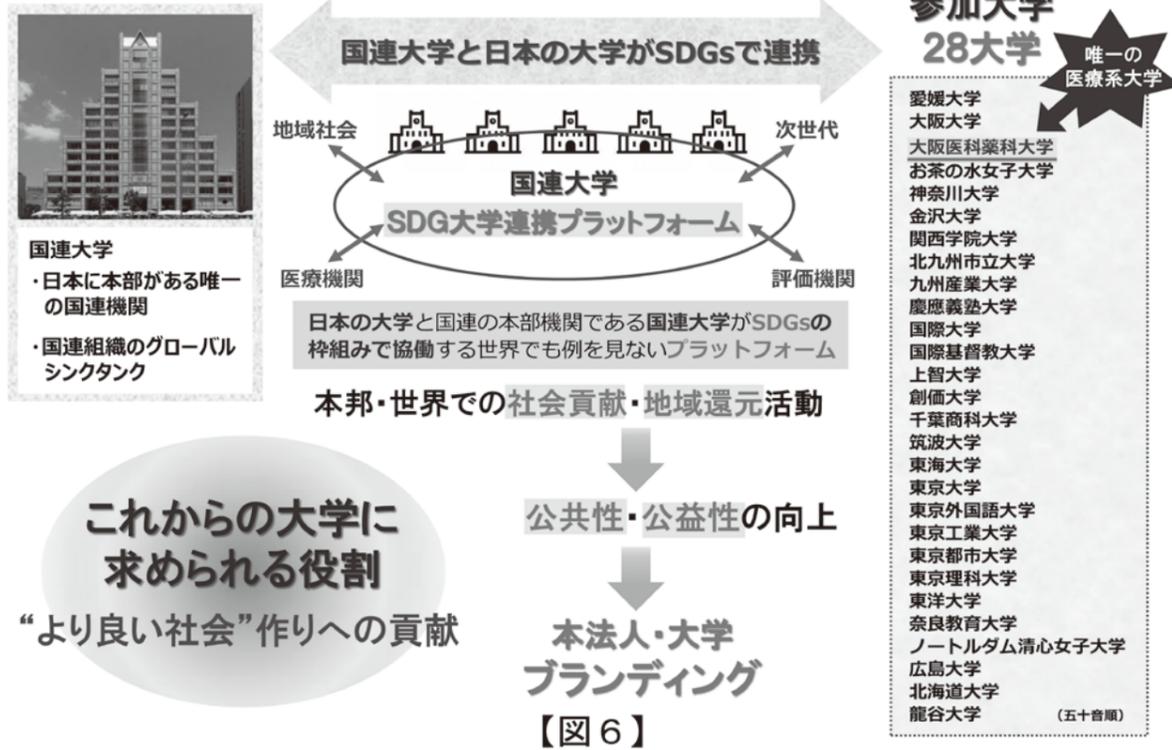
【図5】

ワークを採用します。【図5】大学病院として、質の高い医療の提供や、患者さんに優しく利便性が高い、職員には働きやすい病院を目指しております。建築スケジュールは、平成30年の厨房移設から始まり、令和元年6月から解体が行われ、昨年に着工し、現在は4階の高さまで建築が進んでおります。今年中には12階までの外観建設が完了する見込みで、その後、内装工事に取り掛かり、来年6月に開院の予定です。その後、B棟の建築が開始され、病院新本館全体が完成します。

まとめとして、今後法人がどのような方向に向かうかについてお話し致します。

法人としては、多くの社会貢献をすることにより公共性を高めることが非常に重要なことと考えています。皆様には、本年4月1日の大学統合を記念して作成されました『サステナビリティ活動冊子(第3版)』をお送りさせていただきました。この活動冊子は、初版及び第2版までは国際標準化機構の「ISO26000(社会的責任に関する国際規格)」に基づき、7つの中核主題である「組織統治、人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者に関する課題、コミュニティへの参画及びコミュニティの発展」に沿って、本学の社会貢献活動をとりまとめています。今年4月に発行した第3版は、ISO26000に併せて、国連で採択されたSDGs(Sustainable Development Goals)を融合させた形でとりまとめています。SDGsには17の目標と169のターゲットから

国連大学SDG大学連携プラットフォーム (2020年設立)



これからの大学に
求められる役割
“より良い社会”作りへの貢献

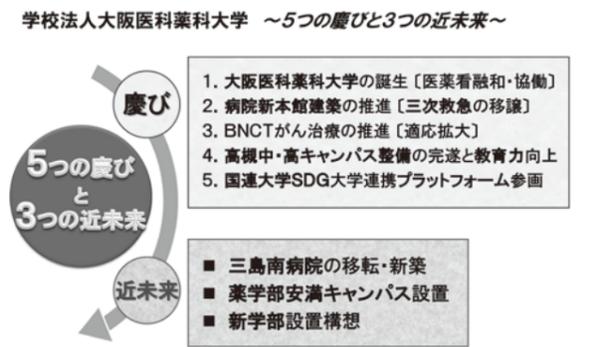
構成され、国連加盟193か国が2030年までに達成するために掲げた目標です。

これには、貧困をなくそうとか、再生エネルギーを使うなど大きな難しい課題もありますが、本学としては教育、研究に加え、各医療人の養成、そして医療の分野については、学校の領域上、貢献できますので、それに関連させて今後どのように社会貢献活動を広げ、継続するかを考えねばなりません。唯一、日本にある国連の機関として国連大学がありますが、ここが中心となり『SDG大学連携プラットフォーム』という枠組みが形成され、日本で積極的にSDGsに取り組んでいる大学が参加して活動を行っています。昨秋、780余の大学の中から28の大学が選ばれましたが、本学は医療系の大学として唯一、このプラットフォームへの参画が認められました。本学の活動課題については検討中でありまして、公共性・公益性を高めつつ、本学のブランディングを含めて大いに議論してまわりたいと思います【図6】。

一方、本法人は、このコロナ禍にある今年度の法人スローガンとして『Society5.0の実践』を行動目標に定め、それに向かって新しい考え方で情報化社会に乗り遅れないよう、様々な事業を着実に進めながら、堅実な経営を行い、十分なコロナ対策をしっかりと取りたいと考えております。

来年、3次救急の大阪府三島救命救急センターが移譲されることに加え、関西BNCT共同医療センターの充実が一層進むと期待されます。一方、高槻中学校・高等学校

はキャンパス全面整備が完了し、教育環境も格段に整って教育力も向上しており、進学トップ校に躍り出る日も近いと思います。加えて、国連大学SDG大学連携プラットフォームに参画できたことなど、嬉しいニュースがありました。数年後には三島南病院の移転・新築や薬学部の新キャンパスの設置、新学部の設置構想なども動きだしてまいります。



仁泉会の先生におかれましては、今後とも本学並びに大学病院へ温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。総会でのご挨拶とさせていただきます。

総会挨拶

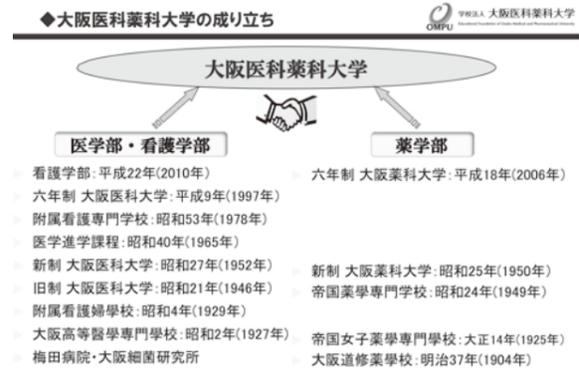
学校法人大阪医科薬科大学 学長 佐野浩一先生

本日はお招きいただきありがとうございます。この度、大阪医科大学と大阪薬科大学が統合してできました大阪医科薬科大学の学長に就任しました佐野でございます。昭和55年卒業の29期でございます。卒後から皆様には大変お世話になっております。改めて感謝を申し上げます。



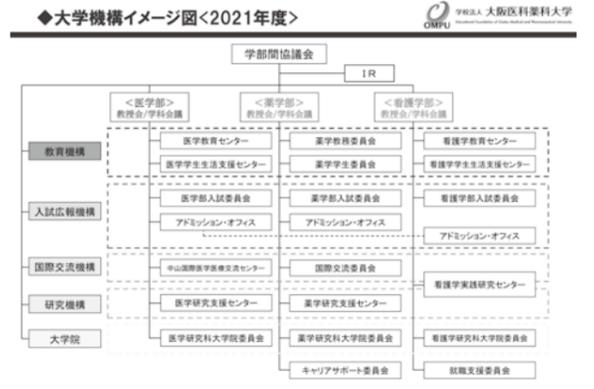
ただいま植木理事長より母校の法人全体の発展についてご説明をいただきましたが、その中の医療系総合大学を目指した大学のあり方そのものを模索するのが私の使命と心得ております、本日はその一端をご紹介させていただいて私の挨拶に代えさせていただきます。

最初に大阪医科大学の歴史に関しましては皆様よく存知のことと思いますが、昭和2年に設立しております。一方、大阪薬科大学につきましては明治の終わり37年に大阪道修薬学校として設立しております。私どもの歴史を見ますとその前に吉津 渡先生が作られた梅田病院とその側にございました大阪細菌研究所がございましたのでおおよそ同時期に始まったという認識しております。その後、昭和21年の終戦直後に旧制大阪医科大学になりまして昭和27年に新制の大阪医科大学になりました。その後、昭和40年に医学進学課程が加えられ昭和53年に附属看護専門学校ができ平成9年には六年制の大阪医科大学となっております。



次に大阪医科薬科大学の機構イメージでございますが、各学部の色々な機構がございましてそれぞれ活動

をしております。各学部に通じた機能をどのように融和していくのかということが単科大学から総合大学に変わった私どもの課題でございまして、現在は機構制度を活用してそれぞれの学部の先生などからの意見を聞きながら組織を動かしていこうとしております。私はこの三つの学部を見ていくわけですが、薬学部と看護学部についてご紹介をさせていただき皆様の母校医学部につきましては後ほど内山医学部長にご紹介をいただきたいと思っております。



まず大学の規模でございますが今までは医学部の700名弱と看護学部の300名強の約1000名の学生を教育するという規模です。そこへ薬学部の定員1800名近くが加わりまして大学院生を入れますと総勢約3000名の学生をお預かりして教育をしていくということになります。薬学部は高槻日赤病院や阿武山の地震観測所の近くに広大なキャンパスがございまして、これは植木理事長がおっしゃられたように本部キャンパスから離れておりますので、安満キャンパス構想が立ち上がっているという状況です。

＜本学学生数＞	
医学部	672名
薬学部	1,723名
看護学部	340名
大学院	287名
総計	3,022名

◆薬学部『阿武山キャンパス』
※京都線「摂津富田駅」又は阪急京都線「富田駅」下車
高槻市営バス「④富田駅」より4番乗場で「大阪医科薬科大学薬学部」行又は「公団阿武山」行で「大阪医科薬科大学薬学部」下車すぐ。所要時間約15分

次に各学部に通じるようなものを見出していくということですが、それ以前からチーム医療の原点になるような多職種連携論というものを見出して1年生から6年生まで一環して教育し始めております。またこの度の数理・データサイエンス・AIプログラムは国がすべての高等教育機関の学生に教育すべしとしておりますので

そういうことを共通して教育していこうということになっております。このようなものをこれから色々に見出していくということが大事だと考えております。

『多職種連携教育』

多職種連携論	
第1学年	多職種連携論1-医療人マインド
第2学年	多職種連携論2-医療と専門職
第4学年	多職種連携論3-医療倫理
第5学年	多職種連携-臨床カンファレンス
第6学年	多職種連携論4-医療安全 高知県 多職種連携地域医療実習

数理・データサイエンス・AIプログラム



次に研究の方でございましてリソースについて、ハードは共通しているものが非常に多いのでそれをどのように統合していくかというのが課題になっております。機器については医学部に技術員がおりますので薬学部の機器も管理するということになります。それぞれ共有しながら使っていくということになります。研究倫理については全ての研究者に必要なものでございますので共有してやっていけるということでございます。知的財産管理についても共通してまとめていかないといけないと考えております。

◆研究活動/取組

- 研究機器の一括管理
- 研究施設の共同利用
- 研究倫理教育
- 知的財産管理
- 産学官共同研究
- 国際交流



次に薬学部と看護学部の課題についてお伝えしたいと思います。まず薬学部でございまして薬学部も六年制になりまして、その中で臨床薬剤師を育てるということを主眼に置いて教育しております。臨床薬剤師というものがどういふものかといいますと病棟薬剤師、調剤薬局、かかりつけ薬局、在宅医療に資する薬剤師になります。今まで病院の中や企業の中で研究する薬剤師も育てていました。去年から国が総力を挙げて薬剤師の需給バランスを調整するというをやりました。そういう中で私たちはどのような臨床薬剤師を育てるかということをお早急にならなければなりません。その流れの中で薬学

アカリキュラムというものがございまして、2024年に改訂をされるのが控えております。薬剤師のあり方、教育の形が変わっていきます。今後、薬剤師の供給がオーバーフローする前に、薬学部の定員削減を求められるだろうと考えております。我々医学部あるいは歯学部で求められたことが薬学部でも求められることになると考えております。

★本学薬学部における今後の取組み/課題

薬学部
● 臨床薬剤師養成 (臨床薬学教育の強化、大学院との連携) 病棟薬剤師 調剤薬局薬剤師 (かかりつけ薬局、在宅医療)
● コアカリキュラムの改訂 (2024年医・歯・薬同時改訂)
● 薬剤師需給調査 (新設薬学部の乱立) ↓ 薬剤師養成数の削減 学生定員削減

次に看護学部ですが依然として看護師不足というのが続いております。こちらについては定員を増やしたいところですが教室のキャパシティが決まっておりますのであまり多くの学生を増やすということは難しいと考えています。今後分野別の認証では優れた看護学部としての評価を受けるといことになると思います。加えて再来年から看護学部のカリキュラムが大きく変更されて保健師、助産師、看護師の全ての教育において強化すべしということになります。ここに医学部の教員も含めて関わっていかないといけませんし医学部の教員が看護学部で働くということも増えてくるのではないかと考えております。そんなに大きな問題はありませんが定員問題だけは課題だと考えております。このような課題を抱えた薬学部看護学部とともに皆様の母校である医学部がさらに発展するように引き続き努力をして参りますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします (拍手)

★本学看護学部における今後の取組み/課題

看護学部
● 今後定員増には限界がある 看護師需要予想の高止まり、受験者数の安定等から入学者数の増加を考慮しているが、1教室の収容定員95名のため限界がある
● 2022年に看護学教育評価受審予定 看護学部として質評価の必要項目について点検中
● 2022年度から新カリキュラム変更 【変更点】 ①保健師課程:総単位数4単位増 ②助産師課程:総単位数4単位増 ③看護師課程:総単位数5単位増 ・臨床判断能力、倫理的判断に必要な解剖生理学等の内容充実 ・療養の場の多様化に対応できるように在宅看護学を強化 (1回生からの地域・在宅ケア実習開始など)

総会挨拶

本学医学部における課題

学校法人大阪医科薬科大学 医学部長 内山和久先生

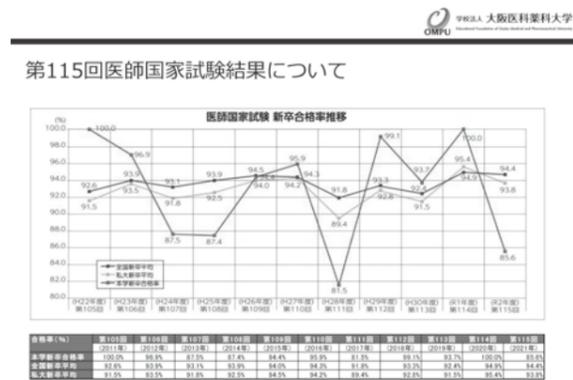
この4月に大阪医科薬科大学が設立されて、初代医学部長を拝命しました内山和久です。医薬看が合併されたことを契機に、お互いに協働して多職種連携教育を推進し、医療系総合大学として発展させていく所存ですので、よろしく協力賜りますようお願い致します。



私は本日、本学医学部における3つの課題についてご説明申し上げます。まず医師国家試験の結果と今後の対策について説明し、次に厚労省が掲げる医師養成課程の見直し案を解説します。さらに本学のコロナ対策の基本方針について簡単に述べます。

第115回の医師国家試験は受験生がすべて現役であったにもかかわらず、合格率が85.6%と、最近では第111回に次ぐ悪い成績でした。私どもの分析では、まず、内的要因として、受験した124人中22人、18%の学生に原級留置歴があったこと、昨年の合格率が100%と気の緩みがあり、学習開始が遅れたことも否めないと考えます。外的要因としてはCOVID-19感染のため、自学自習室の貸し出しが制限されてしまったこと。つまり、本学の医師国家試験学習の強みであるグループ学習ができなくなってしまったことが最大の原因と考えております。

さらに、国家試験合否に関わる統計学的な分析を行



いました。男女別には女性が合格しやすく、現役、浪人別では、当然ながら、現役、1浪の順に合格しやすく、卒業3年以上の学生は自分が多浪生で不利という自覚があるのか、むしろ意識の低い2浪生の合格率が低いことがわかりました。また、4年生の10月には臨床実習に入る直前に、全国の共用試験であるCBTテストがありますが、この下位25%の学生は国家試験合格率が著明に低いことが判明しました。3年生から4年生の10月までしっかりと臨床の基礎勉強を固めることが重要です。

なお、仁泉会の先生方には今年国試浪人となった17名に対して非常に温かい資金的支援をいただいております。たとえば、書籍の購入支援、模試の受験費用支援、15名の病院実習に対する聴講生手続き費用などです。これら既卒生に対するご支援に対し、心より御礼申し上げます。

国家試験の不合格を規定する因子 (ロジスティック回帰分析)

説明変数	β	オッズ比	EXP(β)	95% 信頼区間
性別 (女性)	-0.12	0.88	0.44	~ 1.78
高校卒業後 現役				
卒業1年	0.22	1.25	0.41	~ 3.78
卒業2年	1.25 *	3.47	1.20	~ 10.05
卒業3年以上	1.15 *	3.17	1.08	~ 9.31
4年生共用試験 CBT 上位25%				
中間層	1.80 *	6.05	1.39	~ 26.27
下位25%	3.19 **	24.23	5.57	~ 105.39

**p<0.01 *p<0.05

次に厚生労働省による医師養成課程の見直し案についてご説明します。まず一つめの見直しは、医師国家試験の受験資格における教養試験合格の要件化です。これは大学における医学教育の中で重要な役割を果たしている共用試験、つまりCBT/OSCEを医師国家試験の受験資格の要件として医師法上位置づけるもので、令和5年の4月から適用されます。つまり共用試験に合格できない学生は病院実習に進めず、国家試験の受験資格を失うこととなります。CBTは全国一律の評価なので、学生個人の全国レベルでの成績順位が判明するとともに、大学格差が明瞭になります。

二つ目の見直しは医学生が臨床実習において行う医業の法的位置付けの明確化です。共用試験に合格した学生については、医師以外医業に携わることができないという「医師法第17条」の規定にかかわらず、大学が行う臨床実習において医師の指導監督のもと、医業を行うことができるようになります。こちらは令和7年4月より法令化されます。共用試験に合格して、Student Doctorを付与されることが必須条件となります。



厚生労働省による医師養成課程の見直し案

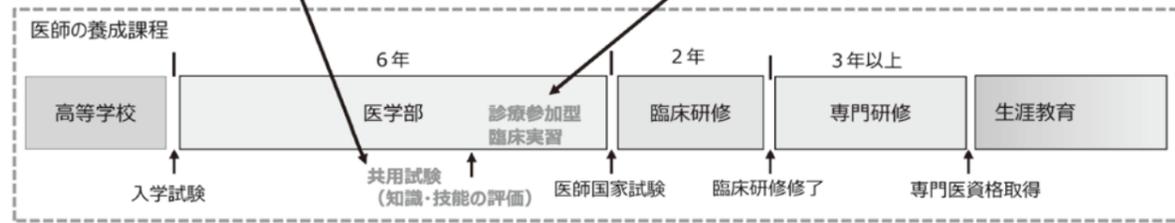
- 1 医師国家試験の受験資格における共用試験合格の要件化
- 2 医学生が臨床実習において行う医業の法的位置づけの明確化

<改正の内容 (令和5年4月1日)>

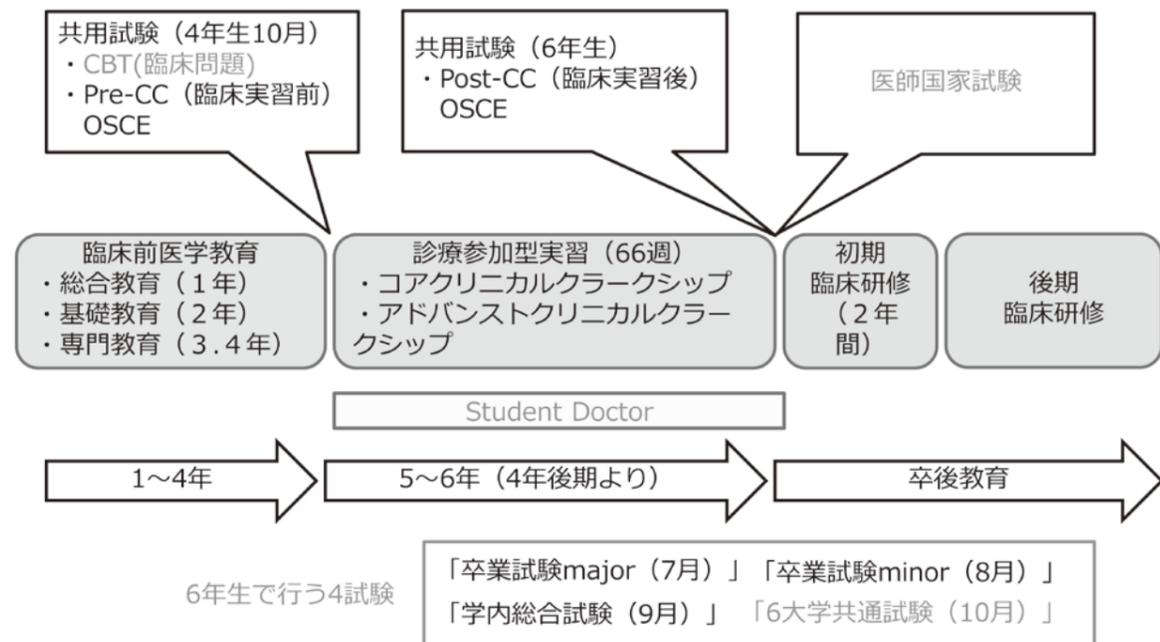
<改正の内容 (令和7年4月1日)>

大学における医学教育の中で重要な役割を果たしている共用試験 (CBT/OSCE) について、医師国家試験の受験資格の要件として医師法上位置づける。また、共用試験の合格は医学生が一定水準の技能・態度のレベルに達していることを担保するものであることから、共用試験に合格していることを臨床実習において医業を行うための要件とする。

医学生がより診療参加型の臨床実習において実践的な実習を行うことを推進し、医師の資質向上を図る観点から、共用試験に合格した医学生について、「医師法第17条」の規定にかかわらず、大学が行う臨床実習において、医師の指導監督の下、医療に関する知識及び技能を修得するために医業を行うことができる。



本学の医学教育の流れ



本学のコロナ対策基本方針について現状をご説明します。春先には緊急事態宣言が発令され、大阪府知事の要請もあって遠隔授業が中心でしたが、本学医学部生のワクチン2回接種率も92.5%と非常に高くなり、さらに未接種者で接種を希望する学生も増えてきました。このような状況下、徐々に対面授業を取り入れて7月以降はほぼ通常授業に戻っております。5、6年生の国試対策を目的としたグループ学習のための自学自習室の使用についても、国家試験の可否を左右するともいわれているので、22時までと時間制限を設けて貸し出しを許可しました。図書館も自学する学生には欠かせないため、同様に22時まで使用可としています。クラブ活動も徐々に再開し、部長の監視下に19時まで活動許可しています。

最後に、本学の医学教育の流れを示します。前にも述べましたように、4年生の10月に施行されるCBT/OSCEに向け、臨床教育が始まる3年生から十分準備させることが肝要と考えています。CBT/OSCEに合格するとStudent Doctorが付与され、病院実習は66週あるので、その間は気を緩めることなく、医療技術を中心に学ばせます。その結果が6年生の7月に施行されるPost-CC-OSCEで判明します。本学はステップアップしながら毎年施行しておりますが、昨年は49大学が参加しました。今後は義務化をされてプレ国家試験となります。さらに6年生では「卒業試験major/minor」「学内総合試験」「6大学共通試験」の4試験があり、これらを全部パスして初めて医師国家試験に臨むことになります。

これらを踏まえ、今後の学生教育を進めて参りますので何卒ご指導ご助言の程よろしくお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。(拍手)



ご投稿のお願い

会員相互および母校とのコミュニケーションや情報交換の場として「仁泉会ニュース」を引き続き利用させていただきたいと思っています。会員の先生方より本誌に対する忌憚のないご意見をいただき、同窓会の活動をさらに充実させていきたいと考えています。

下記の要領にて、多くの会員皆様からの投稿をお願いします。

- 支部会、クラス会、趣味の集会などの案内や報告
- 「仁泉ひろば」のコーナー
- 研究論文の要約（以前に他誌に投稿された内容でも結構です）
- 随想、紀行、写真、絵画、俳句、短歌、川柳などの趣味や特技
- 紹介したい店、場所、物など
- 本誌に取り上げて欲しい話題
字数には制限は設けません。葉書1枚、便箋1枚でも結構です。
- 広告に関して

会員自身が出される広告は現在100字程度までは無料です。内容は、人材募集、開業場所の紹介、医院承継、ブライダル、趣味の発表会の案内などです。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。

(内容により有料の場合があります)

事務局編集係

令和2年度 事業報告書

1. 学術研究振興援助事業

令和2年度は申請が14件あり、それに対し助成を行い、機関紙仁泉会ニュースにて報告を行った。

	学会名（申請順）
1	第44回日本小児皮膚科学会学術大会
2	第40回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会
3	第29回日本熱傷学会 近畿地方会
4	第29回乳癌基礎研究会
5	第82回日本臨床外科学会
6	第17回日本消化管学会総会学術集会
7	第31回日本レチノイド研究会学術集会
8	第8回シミュレーション医療教育学会
9	日本プライマリ・ケア連合学会第34回近畿地方会
10	第42回日本エンドメトリオーシス学会
11	第142回近畿産婦人科学会学術集会
12	第45回日本小児眼科学会総会
13	第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
14	第24回日本統合医療学会学術集会

2. 奨学金貸与事業

令和2年度に採用された奨学生は7名であり、各々年額60万円の奨学金を貸与した。

令和3年度3月末日の奨学金貸与総額は35,224,000円である。

3. 本部諸事業に関する事項

1) 大阪医科大学への後援事業

- ①母校の募金活動の広報協力を行った。
- ②令和2年度卒業生の佐々木博章（ささき ひろあき）君に対して仁泉会理事長賞を授与した。
- ③母校の活動報告として、学報及びOMCニュースを全会員に向け発送した。
- ④在学生に「学生生活虎の巻」と題した講演会及び交流会をオンライン上で年2回行った。
- ⑤西医体、学園祭は中止となった。

2) 会員の福利厚生への事業

- ①会員の動向把握を行い、物故会員69名に対して供花料及び弔電を送った。
- ②令和2年度中に企画されたクラス会の開催について案内状発送事務の支援を行った。
- ③令和2年度の傘寿会員に対して傘寿祝の記念品を贈呈した。

3) 仁泉会組織強化に関する事業

支部会開催にあたり、中止案内発送等の事務支援を行った。

4) 全国私立医科大学同窓会連絡会との連携事業

- ①第30回全国私立医科大学同窓会連絡会「西部会」は中止となった。
- ②第31回全国私立医科大学同窓会連絡会「全国会」は中止となった。

5) 広報事業

- ①機関紙「仁泉会ニュース」を年6回発行した。
- ②フェイスブック及びホームページにて、各種案内及び母校の情報提供を行った。

6) 会員に関する事項

①新入会員に関する事項

令和2年4月入学生は112名、令和3年3月の卒業生は118名であり、令和2年度入会者は230名である。

②会員数に関する事項

令和3年3月末日現在の会員数は5,707名である。

そのうち住所不明等による不明会員は196名である。

③物故会員に関する事項

令和2年度に届出のあった物故会員は71名である。

④会費免除者に関する事項

令和2年度より会費免除となった会員は54名である。

令和3年3月末日現在の長寿会員（免除会員）数は597名である。

7) 役員及び会議に関する事項

①理事会役員に関する事項

令和3年3月末日現在の役員は次の通りである。理事長1名、副理事長3名、常任理事6名、理事12名、監事3名、参与6名 合計31名

②会議に関する事項

令和2年度に開催した会議及び役員が出席した会議は次の通りである。

総会1回、評議員会1回、理事会5回、監事会1回。

8) 会員名簿に関する事項

2020年度版会員名簿を作成し、全会員に向け発送した。

以上

令和2年度収支決算書総括表

自令和2年4月1日～至令和3年3月31日決算 (単位 円)

科目	合計	一般会計	基金特別会計
I 収入の部			
基金収入	24,435	0	24,435
入会金収入	1,860,000	1,860,000	0
会費収入	21,460,000	21,460,000	0
学生会費収入		1,602,000	0
寄付金収入	10,000	10,000	0
雑収入	5,642,698	5,642,571	127
奨学金返還金	5,619,000	0	5,619,000
繰入金収入	2,000,000	2,000,000	0
当期収入合計 (A)	38,218,133	32,574,571	5,643,562
前期繰越収支差額	40,755,073	21,655,144	19,099,929
収入合計 (B)	78,973,206	54,229,715	24,743,491
II 支出の部			
事業費	21,738,467	17,538,467	4,200,000
管理費	12,782,812	12,768,795	14,017
特定預金支出	1,000,547	1,000,547	-
繰入金支出	2,000,000	-	2,000,000
当期支出合計 (C)	37,521,826	31,307,809	6,214,017
当期収支差額 (A) - (C)	696,307	1,266,762	-570,455
次期繰越収支差額 (B) - (C)	41,451,380	22,921,906	18,529,474

新役員氏名一覧 (期順)

- ・理事長 安藤嗣彦 (学20期)
- ・理事 北浦泰 (学15期) 飯田稔 (学18期) 大藪博 (学22期) 安井多喜雄 (学23期)
- 森本博子 (学24期) 福本敏子 (学24期) 大森英夫 (学25期) 水谷均 (学26期)
- 上野豊 (学27期) 小野誠治 (学28期) 江口秀史 (学30期) 米田豊 (学30期)
- 酒谷薫 (学30期) 御前治 (学33期) 星賀正明 (学34期) 岩崎善毅 (学35期)
- 森川浩志 (学36期) 瀧谷公隆 (学38期) 中野隆史 (学38期) 上田英一郎 (学40期)
- 大植陸 (学40期)
- ・監事 日下孝明 (学16期) 大西洋一郎 (学25期) 松本恒司 (学26期)

大学評議員一覧 (期順)

- 安藤嗣彦 (学20期) 大藪博 (学22期) 大森英夫 (学25期) 上野豊 (学27期)
- 御前治 (学33期)



祝・入学

令和3年度

大阪医科薬科大学入学宣誓式

令和3年度の入学宣誓式は、令和3年4月3日（土）午後2時より高槻現代劇場大ホールにて、医学部医学科112名、看護学部看護学科93名、薬学部309名で行われ、佐野学長より式辞が述べられました。

当日の挨拶とともに、新入学生に対する安藤嗣彦仁泉会理事長の祝辞を記させていただきます。

学長式辞

大阪医科薬科大学学長 佐野浩一

花細し春。

新入学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、ご家族保護者の皆様におかれましてもお喜びのことと心よりお祝い申し上げます。



本年4月1日、大阪医科薬科大学と大阪薬科大学が統合され、「至誠仁術」を学是とする大阪医科薬科大学が誕生しました。皆さんは、大阪医科薬科大学の最初の入学生です。大阪医科大学と大阪薬科大学はそれぞれ一世紀前後におよぶ歴史と伝統のある大学で、皆さんが入学する大阪医科薬科大学はその歴史と伝統の流れの上にあります。

医学部、薬学部、看護学部の歴史や伝統は、米国流に置き換えれば School of Medicine, School of Pharmacy, School of Nursing それぞれの先輩たちに受け継がれており、良き伝統を皆さんに受け渡してくれることでしょう。

この大学統合は、多職種連携教育の必要性を見据えて、互恕を以て成し遂げられました。「互恕」の「恕」というのは「女」偏に「口」、その下に「心」と書く「恕」です。この「恕」は、医は仁術の「仁」の表れともいえます。

言い換えると「徳」を持った人から現れる「思い遣り」というほどの意味でしょうか。皆さんが縁あって入学される大阪医科薬科大学は「仁」と「恕」が体现された大学です。皆さんは、この歴史的な大学統合の深い意味を知り、誇りをもってください。その誇りとは、皆さんの母校となる大阪医科薬科大学の価値を皆さん自身が見出す、あるいは創り出すことによって生まれます。

宝石の原石は、その中に宝石が含まれている価値を見出すことができなければ、また、磨き出さなければ、路傍の石となります。皆さんは、これから大阪医科薬科大学に価値を見出し、価値を創り出し、その価値を誇りとして一層勉学に励み、自分自身の価値を磨いてください。

今日ここで「これが大阪医科薬科大学の価値です。」と紹介することはいたしません。自らの学生生活でその価値を見出し創り出してください。見出そうとする姿勢、創り出そうとする姿勢が、皆さんがこれから医学・薬学・看護学を学ぶ姿勢そのものです。皆さんは初等中等教育において、標準的なものの考え方やものごとを考える上で必要な知識を得てきました。これから大学で学ぶのは医学・薬学・看護学の標準的な考え方と知識だけではありません。患者さんはそれぞれに異なる考え方・体質・環境・背景をもっています。その患者さんに標準的な考え方や知識を拘り定規に当てはめることができないことを体験し、ではどうすればよいのかを考える力を身につけなければなりません。その力は、まさに皆さんが

身に着けるべき教養でもある訳です。学課内あるいは課外でできる限り広い教養を身に付けてください。

また、教科書やガイドラインに記されたことを遵守すると同時に、本当にそれでよいのかと常に疑問を抱き、自ら研究する力も求められます。ここでは医療を例に挙げましたが、これは皆さんが社会人となった場合にも、社会生活の中で必要となってくるものです。

皆さんが探し求め、研究し、辿る道は、皆さんが、高度な専門家として選ぶ道です。それは、医学部では様々な診療科の専門医であり、薬学部では病院薬剤師や薬局薬剤師などであり、看護学部では病院看護師や訪問看護師や保健師や助産師であり、また、それら以外にも教育者や研究者や行政官などがあります。皆さんはそれらのうちのいずれかに大きな価値を見出し、自らそれを学び、磨いていくのか、という事を大学の学びの中で達成して頂きたいと願います。

大切なことは、「何を与えてもらうか」ではなく、皆さんが「何を探し出すか」「何を創り出すか」ということです。私たちは、皆さんがそれぞれに修める学問において、標準的な考え方や知識を紹介するだけでなく、何かを求めようとする皆さんのお手伝いをする場を提供したいと思います。大学では、何かを与えてもらおうと待っていても、何も得ることはできません。是非ご自分で積極的に求めて頂きたいと思います。

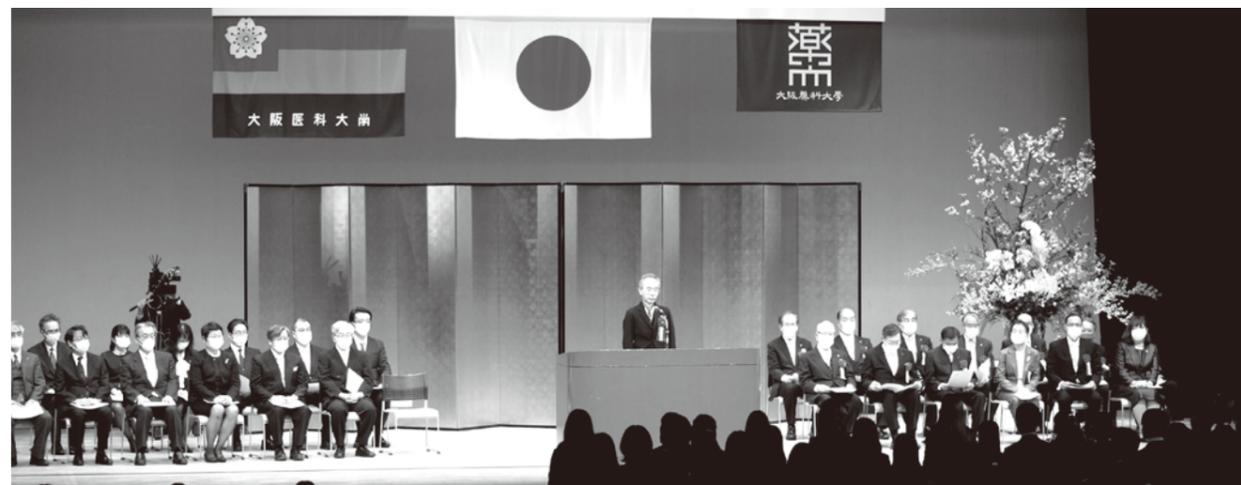
私たちが直面するCOVID-19は私たちが「何を探し出し」「何を創り出すか」を問うているようにも感じます。私たちの探る対応のどれが正しいのか、現時点では分かりません。紀元前1000年頃にインドで天然痘ウイルス感染症に対するワクチン法が開発されています。人痘種痘法という方法で、それが二千八百年を掛けて、1798年にジェンナーによって人類初めての感染症撲滅に繋がるワクチンが開発されました。牛痘種痘法という方法です。その牛

痘種痘法に代表されるワクチン接種法を用いて私たちはCOVID-19に立ち向かおうとしています。このワクチンは未曾有のスピードで開発され、かつて3,000年近くの時間をかけて開発したものを、たった1年で開発・応用し、その効果の一端は明らかになっていますが、未だ不明なことの方が多いのが現状です。人類は皆さんとともに「COVID-19の正体を探り出し、対応法を創り出そう」としています。

皆さんはそういった事を念頭において、その中で絶対に忘れないで欲しいと願うことがあります。それは冒頭で申し上げた「恕」です。今、通常の医療を含めた医療提供体制を守ることを目的として、すべての人々に様々な制約が課せられています。その制約によって精神的、経済的に窮地に追い込まれる人々がいることに目を向けてください。皆さんには、広く社会を見渡し、それらの人々への恕をもって自らを律していただければと願います。

皆さんが、価値を見出すために、価値を創り出すために、何かを求めて迷ったとき、私たち教員や職員に遠慮なく相談して下さい。できる限りのお手伝いをします。また、学問だけでなく、生活面でも困ったことがあれば遠慮なく相談して下さい。私たちは皆さんとともに考えます。私の自慢は、大阪医科薬科大学には、皆さんとともに考え、相談を受けることができる優秀な教員や職員が揃っているということです。皆さんの相談を受けて、皆さんと一緒に考えることによって私たち教職員も成長を致します。大学は、教員や職員が一方的に学生に学問を教授するところではなく、学生とともに教員や職員が学ぶところでもあります。本日皆さんの入学宣誓に応え、皆さんに入学の祝意を述べると共に、大阪医科薬科大学における学びについてお伝えして、学長の式辞といたします。

ご入学おめでとうございます。



祝辞

一般社団法人大阪医科大学 仁泉会理事長 安藤嗣彦

大阪医科薬科大学の医学部第1期生の新生諸君御入学誠におめでとうございます。御両親をはじめ御家族の皆様には感慨ひとしおのことと存じ、心からお慶び申し上げます。



私は大阪医科薬科大学の医学部同窓会組織、一般社団法人仁泉会の理事長の安藤と申します。このよき日に同窓会を代表として一言お祝い申し上げます。

諸君達は大阪医科薬科大学の映えある1期生ですが大阪医科大学医学部の入学生としては76期生となります。

本学の前身は昭和5年に創設された5年制の大阪高等医学専門学校で、西日本では最も歴史のある医学校です。当時のアジア、南米への移民開拓団の人達の医療を目的として設立されました。

諸君達は長く苦しい受験地獄よりやっと解放され、ほっとされている事と思います。しかしながらこれからが医学の道を極める第1歩を踏み出す時でもある事を肝に命じて下さい。

その為には、今から授業を受け、本を読む習慣を身につけて下さい。今の医学は日進月歩で常に新しい知識を習得して下さい。又、同時に悩んでおられる患者さんの心の内を理解する心情豊かな精神の育成も必要です。まずはクラブ活動で同級生、先輩、後輩との友情を築いて下さい。本学には種々の体育会系文科系のクラブがありますので是非入部して下さい。

もう一つ、諸君達は建学の精神を学んで下さい。

クラブ活動では、事ある毎に医学部学歌を謡う風習があります。学歌を謡えば、自ずと本大学の目指す理念が理解できます。6年后卒業した時には、必ず母校愛が芽生えていると思います。

悔いのない学生生活を送り、人に尊敬される立派な医師となられる事を望み、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



役員交代・就任

〔奈良県評議員〕

前評議員 柘岡 進先生 (学8期)



新評議員 橋本恵介先生 (学42期)

〔愛知県評議員〕

前評議員 石垣 宏先生 (学16期)



新評議員 山本明和先生 (学21期)

医学部長就任のあいさつ 医療系総合大学の強みを活かし、次世代の医療を担う医師を育てる 医学部学部長 内山和久(学32期)

仁泉会の先生方におかれましては平素より多大な支援、ご指導を賜り、心より御礼申し上げます。2021年4月、医療系総合大学として医学部、薬学部、看護学部を持つ大阪医科薬科大学が新たな歴史を刻み始めた中で、初代医学部長に選出されたことは大変光栄であり、身の引き締まる思いです。今後とも、本学の学是である「至誠仁術」に従い、建学の精神にある「社会に貢献できる創造性と人間性豊かな国際的視野を持った医療人の育成」を目指す所存です。

人材育成にあたっては、診療は生命にかかわる神聖な行為であるため、患者さんに対して常に真摯な態度で望むことを教育の基本とします。つまり、(1) 患者さん目線に立った医の倫理についての理解、(2) 相手の立場を配慮した双方向のコミュニケーション、(3) チーム医療の中でリーダーシップを発揮できる、(4) 医師は生涯学習であるという自覚を持つことの4項目を学生の一人ひとりが実現できるよう指導したいと思っています。

昨今の医療の高度化や複雑化、さらにコロナ禍対策も相まって、医療従事者の業務が増大しています。このような状況下でもより質の高い医療を実践するために、臨床ではIPE (Inter-professional education:多職連携教育) を施行して、医師、看護師、薬剤師などで構成されるチーム医療が促進されています。その結果、合理的な診療により患者さんへの利益に寄与しています。学生教育にも医学部、薬学部、看護学部の3学部が連携して行うIPEが、1年次からカリキュラムに組み込まれており、将来の医師像に反映させたいと思います。

先進医療を実践する大学病院には18の専門



職種があります。学生にはそれぞれの職種の役割を理解してチーム医療の重要性を学び、それを牽引するためのコミュニケーションやリーダーシップ能力を培うことを期待しています。病院実習には、薬学部生や看護学部生、さらに他の専門職種が関わり、互いの学問的交流も可能となるでしょう。臨床と一体となった学業の中で、患者さん目線に立った医療の尊さ、医師というプロフェッショナルリズム、自ら疾患に興味を持ち、深く追究する姿勢を学んでほしいと考えています。その過程で、先生方の医療施設を学びの場としてご提供いただく機会があるかもしれませんが、その際は何卒よろしくお願い致します。

最後に、本学の先輩であられる仁泉会の先生方には、日頃のご指導を深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。今後の仁泉会の益々のご発展を祈念致しております。



祝・近畿大学医学部内科学教室消化器 内科部門教授ご就任！ 西田直生志先生（学34期）

ご挨拶

文責／西田直生志（近畿大学医学部内科学教室
消化器内科部門教授 学34期）



大阪医科大学仁泉会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、近畿大学医学部内科学教室・消化器内科部門教授を拜命致しました学34期の西田でございます。就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

私は卒業後に京都大学大学院医学研究科を修了し、京都大学医学部第二内科、ペイラー大学メディカルセンター、京都大学医学部消化器を経て2011年より近畿大学医学部・消化器内科の工藤正俊 主任教授の元で准教授として、肝疾患、特に肝癌の臨床・研究に携わって参りました。私が医師としてのスタートを切った頃は、肝臓領域ではHCVのクローニングが話題となりました。当時、私は肝癌の癌抑制遺伝子の同定に取り組み、遺伝子多型を用いて連鎖不均衡や染色体マッピングから感受性遺伝子の存在部位を絞り込み、診療した肝癌患者さんの細胞で癌抑制遺伝子の機能喪失変異を見出しては興奮したこと覚えています。このように、ゲノム研究から開始し、さらに在米時代からはエピゲノムを対象に加え、癌の遺伝情報が病態や治療に与える影響を検討して参りました。当初は、肝癌に有効な薬物療法がない時代でしたが、ソラフェニブの登場以降、現在までに多くの薬物が肝癌治療に承認されるに至っています。すなわち、進行肝癌でも治療可能な時代になりましたが、分子標的薬のみならず免疫チェックポイント阻害剤も、その効果が腫瘍細胞のゲノムやエピゲノム状態に大きく依存することが明らかになるにつれ、研究のバックグラウンドが臨床を理解する上で、極めて重要であることが実感できたことは、大変幸せなことと感じております。

このように肝癌診療では、病態に応じた治療方針を選択することが可能となりました。しかし、近未来の医療現場では、より洗練されたオーダーメイド医療が必要とされるように思います。少子高齢化社会においてマンパワー不足を補いながら、完成されたオーダーメイド医療を実現させるためには、人工知能(AI)のサポートが欠かせないと感じております。この点に関して、3年前よりAMEDの支援を受け、実務者として超音波 B-mode の腫瘍診断をリアルタイムで支援する AI(AI 超音波)開発に取り組んできま

した。加えて、医用画像に診療情報を加味した学習モデルから肝癌薬物療法のアウトカムを予測するAIの開発も進めております。医療AIの開発は、疾患スクリーニングからマネージメントまでを、症例の特殊性を加味しながら行う上で欠かせない部分と考えており、AI 超音波に関しては、数年以内に薬機承認を得ることを目指しています。目標達成には、多くのハードルがありますが、今年度からAIの臨床試験のための新たな AMED 研究費も獲得でき、登るべき山の高さや登頂ルートが明らかになったことは大きな成果でした。

上記のように、今までに多くの方々の温かいご支援により活動することができました。これからの医師としての期間は、若い人と共に、肝疾患・肝癌の診療において分子生物学、腫瘍免疫学にデータサイエンスを加味し、時代にフィットしたデータ駆動型のオーダーメイド医療を実現したいと思っております。同窓会の皆様には、改めてお礼申し上げますとともに、益々の叱咤激励を賜れますよう、切にお願い申し上げます。

西田直生志先生ご経歴

1985年 大阪医科大学 卒
1993年 京都大学大学院医学研究科（内科系）修了、
博士（医学）（京都大学）
1996年 生産開発科学研究所 研究員
1997年 京都大学医学部第二内科（臨床病態医科学）
文部技官／文部教官助手
2004年 ペイラー大学メディカルセンター（テキサス州）
消化器内科 フェロー
2006年 京都大学医学部消化器内科助手／講師
2011年 近畿大学医学部消化器内科准教授
2021年 近畿大学医学部消化器内科教授

Reserachmap URL:

<https://researchmap.jp/naoshinishida>

受章報告

下記の先生の受章が判明いたしました。

母校同窓会として慶事でありますので、ここにご報告させていただきます。

旭日双光章

学部19期 末澤慶昭先生 保健衛生功労

学部25期 大森英夫先生 保健衛生功労



2021年4月29日（木・祝）付け神戸新聞に
大森英夫先生（学25期）の記事が掲載されました。

各地で喜びの受章・受賞等あれば、事務局宛書面、新聞などをお送りくださるか、
原稿をお届けください。

本誌にて広く紹介させていただきます。

受賞報告

大阪医科大学第97回医学会総会2021年度春季学術講演会に於いて、研究奨励賞を受賞された一般・消化器外科学教室 出原啓介先生（学60）の表彰が行われました。先生の受賞論文をご紹介します。

論文紹介

【論文題名】

A Lynch syndrome-associated mutation at a Bergerat ATP-binding fold destabilizes the structure of the DNA mismatch repair endonuclease MutL
(BergeratのATP結合部位におけるリンチ症候群関連の変異はDNAミスマッチ修復のエンドヌクレアーゼであるMutLの構造を不安定化する)

《背景・目的》

DNA複製の誤りは遺伝情報を変化させ、細胞の老化やがん化の原因となる。DNA修復機構の一つミスマッチ修復系（mismatch repair:MMR）はDNA複製の誤りを修復する系であり、バクテリアから哺乳類までほぼ全ての生物で保存されている。MMRを担う酵素群のうちMutLはエンドヌクレアーゼ活性を有しており、複製の誤りを含むDNA鎖に切れ目を入れる。MutLによる切断部位を足掛かりにして新たなDNA鎖が合成されることで複製の誤りが修復される。バクテリアMutLはホモ二量体であるが、ヒトMutLは主にMLH1とPMS2の二種類のサブユニットから成るヘテロ二量体である。MLH1およびPMS2遺伝子の変異は、遺伝性のがんであるリンチ症候群の原因となることが知られている。MutLのN末端ドメイン（NTD）にはATPaseモチーフが存在しており、BergeratのATP結合部位と呼ばれる。一方、C末端ドメインにはエンドヌクレアーゼ活性部位が存在する。Bergerat ATP結合部位におけるATPの結合と加水分解は、MutLのエンドヌクレアーゼ活性を調節しており、MMRに必須である。

近年、リンチ症候群が疑われる症例においてMutL遺伝子上の変異が多数報告されるようになった。それらの変異の病原性を判断するためにはMutLタンパク質の生化学的解析が必須である。



本研究では、超好熱性真正細菌であるAquifex-aeolicus由来MutL(aqMutL)およびヒト由来PMS2を使用し、BergeratのATP結合部位や他の領域に存在するリンチ症候群関連変異がMutLの機能と立体構造に及ぼす影響を評価することを目的とした。

《対象・方法》

まず、高い安定性を有し生化学的解析に適したaqMutLをモデル分子として用いて結晶構造解析と酵素学的解析により各種変異の影響を評価したのち、特に大きな影響が見られた変異について、ヒト由来PMS2における影響を調べることにした。大腸菌を宿主として用いたタンパク質発現系によりMutL NTDを大量に発現・精製し、ATPアナログとの複合体の結晶構造解析を行った。また、リンチ症候群関連の変異を導入した変異型aqMutL NTDも同様に調製した。野生型（WT）と各変異型タンパク質の二次構造や安定性を円二色性分光法により解析した。また、ATPase活性およびDNA結合能を評価した。さらに、ヒトPMS2 NTDにおいても、リンチ症候群関連変異を導入した変異型タンパク質を調製し、ATPase活性を解析した。

《結果・考察》

過去の報告で、ヒトMLH1 NTDはATP結合により局所的な構造変化を起こすが、PMS2 NTDで

はそのような変化が起こらないことが分かっていた。今回、ATPアナログ結合型aqMutL NTDの結晶構造を決定したところ、ATP結合による局所的な構造変化が生じないことが確認された。これはヒトPMS2の結果と同様であり、ヒトPMS2とバクテリアMutLとの構造および機能的類似性を示すものである。そこで、超好熱性バクテリア由来であるaqMutLを、ヒトPMS2のモデル分子として用い、リンチ症候群関連変異であるS34I、R95W、E97K、R168T、K252Nの評価を行った。これらのうちS34I、R95W、E97KはBergeratのATP結合部位に存在し、残りはその他の領域に位置する変異である。

円二色性スペクトルによる二次構造の解析ではS34Iにおいて α ヘリックス含量が大きく減少している結果が得られた。その他の変異型タンパク質のスペクトルはWTと同じであった。熱に対する安定性を評価したところ、S34IとR95Wにおいて安定性の低下が見られた。また、変性剤である尿素に対する安定性も評価したが、同様に、S34IとR95Wの安定性が低いという結果が得られた。また、タンパク質分解酵素を用いた限定分解では、S34IはWTやその他の変異型タンパク質よりも分解されやすかった。これらの結果から、S34IとR95W変異はMutLの不安定化を引き起こすことが示された。ヒトPMS2 NTDにおいて、aqMutLのS34Iに相当するS46I変異を導入し、変異型タンパク質の調製を試みたが、WTは精製可能であったのに対しS46Iは宿主細胞で消化され精製できなかった。ヒトPMS2においても、このBergeratのATP結合部位における変異を導入するとタンパク質構造自体が不安定化することが確認された。

ATPase活性を測定したところ、R95WとE97KはWTと同等のATPase活性を示した。S34Iは活性を認めたもののWTよりも低いという結果となった。R168TとK252Nに関してはWTよりも活性が有意に上昇していたが、Arg168とLys252はDNA結合に関与していると考えられている残基であり、ATPase活性とDNA結合能に関連がある可能性が示唆された。

S34I、R95W、E97KのDNA結合能はWTと同等であったが、R168TとK252NではDNA結合能の低下が見られた。これらの残基の正電荷がDNA結合に関わると考えられた。

賞状

A Lynch syndrome-associated mutation at a Bergerat ATP-binding fold destabilizes the structure of the DNA mismatch repair endonuclease MutL
The Journal of Biological Chemistry (2020 Aug 14;295(33):11643-11653)

研究奨励賞

出原 啓介 殿

貴殿の論文は大阪医科大学医学会研究奨励賞受賞規定にもとづいて審査の結果2020年度における優秀なる論文と認められました
茲に第17回研究奨励賞を授与します

2021年6月9日

大阪医科大学医学会
会長 佐野 浩一

《結論》

ヒトPMS2 NTDは不安定であり詳細な生化学的解析を行うことは難しいが、安定なaqMutL NTDをモデル分子として使用することでリンチ症候群関連変異の影響を多様な観点から評価することができた。

Arg168とLys252はDNA結合部位に存在し、それらの残基でみられるリンチ症候群関連変異R168TおよびK252NはDNA結合能を低下させることが実験的に確かめられた。これらの変異はMutLのDNA結合能を低下させることでリンチ症候群の発症につながると考えられた。

S34I変異はBergeratのATP結合部位に存在するためATPase活性を失わせると予想して実験を行ったが、実際にはATPase活性に対する影響は弱く、代わりにタンパク質構造を極端に不安定するという結果が得られた。これはヒトのPMS2におけるS46I変異が発現の欠失につながるという臨床の報告と一致している。BergeratのATP結合部位の完全性がMutLの安定性に重要であるという結果は、ATPase活性に直接関与しないアミノ酸残基の変異であってもリンチ症候群の原因となる可能性を示しており、今後のMutL遺伝子診断において重要な知見と言える。

東雲 出張版

※「東雲」は文芸部の部誌のタイトルです。



緊急事態宣言の夜に
ボクたちの新型コロナ戦記2020
著者／さだまさし

日本を代表するシンガーソングライターであるさだまさしは2015年に財団法人「風に立つライオン基金」を設立し、被災地や途上国への支援活動を行ってきました。その中で2019年末に新型コロナウイルスの世界的流行が始まり、さだは基金への寄付金の源泉であるコンサートの開催が不可能になるという危機に直面します。

この本では筆者であるさだが2020年を振り返り、「風に立つライオン基金」が医療現場に対して行った物資輸送や医療スタッフ派遣といった支援活動とその効果を総括すると共に、コロナ禍における音楽界の危機に際してどのように2020年9月からコンサートを再開したのかを叙述的に書き記しています。

公益財団法人の責任者として医療現場を支援するのみならず、「ゼロリスクはあり得ないが、可能な限り安全に行くことは出来る」という覚悟のもとに入場者制限や全力の感染予防策を講じてコンサートを再開したさだまさしの姿は疫病や天災という局面における芸術家の使命を体現しており、この本はコロナ禍の次に人類を襲う新たな災厄の時まで人々の記憶に残るべき名著です。

医学部 5 回生 文芸部 黒川四郎

広告募集！

仁泉会ニュースでは、広告の募集もしております。

ご出稿のタイミングや料金などは事務局までお問い合わせください。

TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636

e-mail / jim@jinsenka.net

学会報告

日本アンドロロジー学会 第40回学術大会

文責／会長

大阪医科大学 医学部

泌尿器生殖・発達医学講座

泌尿器科学教室 教授 東 治人 (学37期)

この度、日本アンドロロジー学会第四十回学術大会の会長を拝命し、2021年6月12日、13日の2日間にわたり「生きる源、男性力」を学会テーマに開催いたしました。新型コロナウイルスの勢いが収束の兆しを見せない中、オンライン/Webのハイブリッド形式にて開催予定としておりましたが、緊急事態宣言が発令される事態となったため、苦渋の決断ではありましたが完全Web配信としての開催となりました。完全web開催の学会はまさに手探り状態ではありましたが、実際に開催致しますと、若手の先生方を含め多くの先生方が自由に討論に参加して忌憚ない意見交換を交わされ、本当に素晴らしい学術集会となったと思います。

特別講演では、この分野で世界的なエキスパートである順天堂大学医学部附属浦安病院の辻村晃先生に、テストステロンの性機能、生殖機能における役割の総括的レビューをはじめ、最新知見で得られてきた排尿機能とテストステロンの驚くべき相関、さらに近年大きな問題となっている男性更年期症候群 (Late-Onset Hypogonadism: LOH 症候群) における研究の最前線を余すところなく90分以上にわたって御講演をいただきました。

教育講演では、「精子の代謝機構と運動パターンとの関係」をテーマに泌尿器科領域講習単位1単位、そして「妻への診療の観点からの不妊治療」をテーマに産婦人科領域講習単位1単位の講演講習を賜り、学会に所属する若手研究者の先生方からの多くの質問を受け大変有意義な講演となりました。

そしてシンポジウムでは、「男性力」をテーマに、がんサバイバーや老年医学における男性力、男性不妊の臨床的視点からのアプローチ研究、さらに

ニューロテンシンやセロトニンなど、テストステロン以外にも男性力を決定づける因子群の分子生物学的機能について御講演をいただきました。討論ではこの分野のエキスパートの先生方による活発な意見交換に加えて異分野を専門としている先生方からあっと驚くような意見が飛び出すなど、まさに本学会員の先生方のあつい想いを凝縮した極めて充実した内容のセッションとなりました。

以上、本学会が盛会に開催されましたことをここに御報告させていただきます。これもひとえに仁泉会会員の皆様からの温かいご支援の賜物と心から感謝申し上げます。末筆になりますが、今後の仁泉会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げ、御挨拶に代えさせていただきます。



仁泉ひろば

jinsen-park

「医に関する諺」

文責／西村 保（学4期）

○医は仁術

仁とは人間に対する慈しみ、思いやりで、孔子が提唱した最大の道徳観念である。

もともと仁の字は二人の人と書く。医学は人間に対する学問である。従って、人間に対して限りのない慈しみや思いやりをもって治療し、報酬は二の次であるという概念である。

○医は意なり

意とは心、心の動き、考え、気持ちのことである。医療は薬よりも精神的な作用が主な役目をする場合がある。病は気からで、名医にかかると、それだけで半分位は治ったような気がすることが多い。

○医者と味噌は古い程よい

味噌は古くなって塩気がよくしみ込んだのが良いように、医者も多く経験を積んでいることが大切である。

○医者も薬も匙加減

良薬でも分量や混合の割合が適正でなければ効き目は発揮しない。何事も加減が大切である。

○医者も自脈に効き目なし

医者は自分が病気になると、その診断や治療に迷うものである。これは、その診断に主観が入るため、実際より良く診たり、悪く診たりして、薬も多すぎたり少なすぎたりと、客観的な、正しい判断が出来にくいからである。

○医者も不養生

医者は人には養生を教えながら自分の体を粗末にすることが多い。つまり、口では立派なことを云っても、実行が伴わないことを云う。専門家は得てして自分のことになると返って逆のことをしてしまうことが多い。

○医を信ぜざればその病、癒えず

医者がいくら名医でも、患者が医者のいいつ

けを守らなければ治療の効果は上がらない。病人は医者を信頼し、その指示を忠実に守ることが大切である。

○医者も取るか坊主も取るか

生死の境をさ迷っている重病人のことを云う。

○医者も智者福者

世の中で宝となるものは医者と賢者と金持ちであるから、この三者を友とすれば有益である。

○薬は人を殺さず、医者も人を殺す

薬そのものは人を殺さないが、これを扱う医者の処方によっては殺す場合がある。

○薬より養生

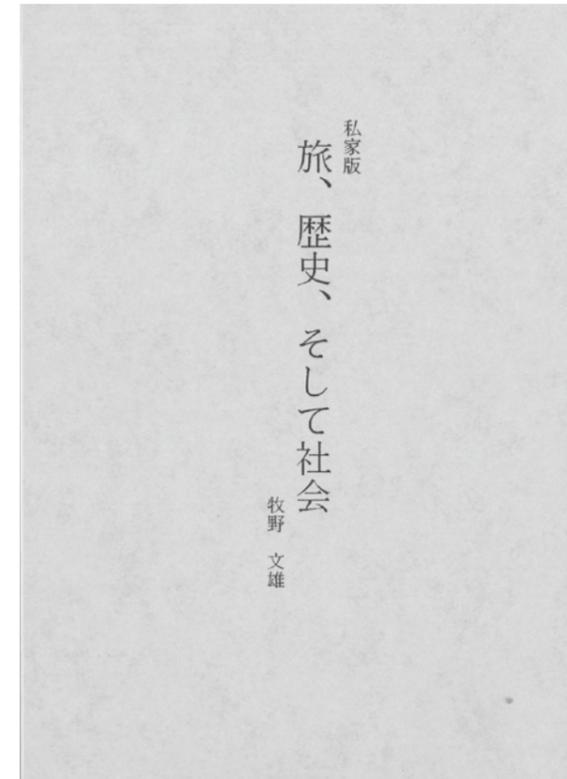
薬によって健康を保つよりも平素の養生が大切である。

○薬も過ぎれば毒となる

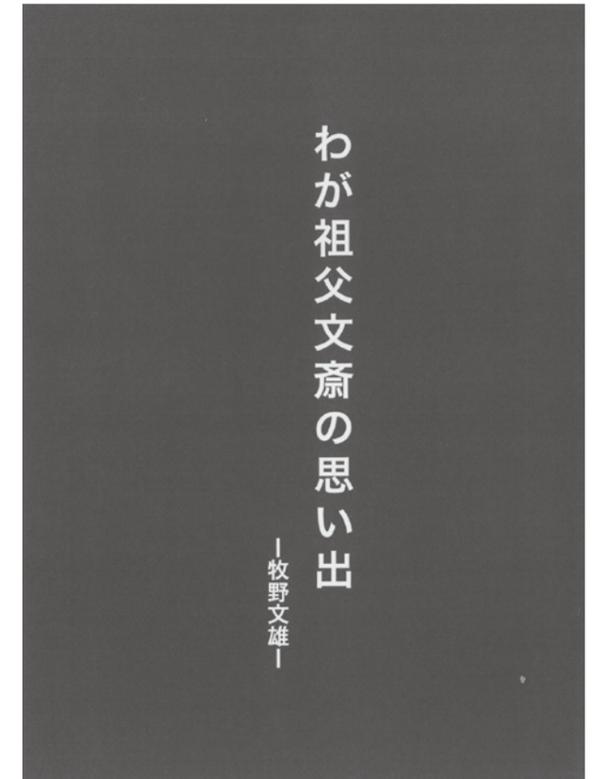
薬にかぎらず、どんなよいものでも、度を過ぎれば毒になる。何でもほどほどが良い。



会 員 著 書



著者：牧野文雄（学2期）



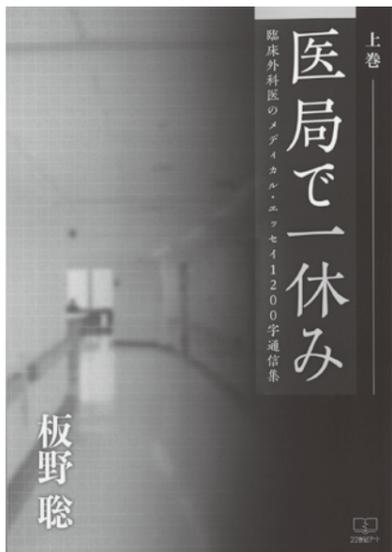
著者：牧野文雄（学2期）

牧野文雄先生からご献本いただきましたので、ご紹介させていただきます。

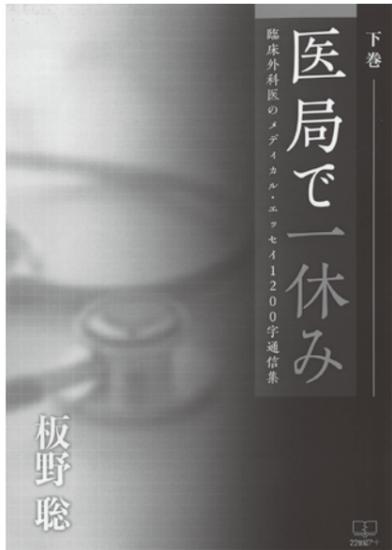


著者：牧野文雄（学2期）

会員著書



医局で一休み 上巻
 著者：板野 聡 (学28期)
 価格：電子書籍版 ¥1,000 (税込)
 POD版 ¥2,046 (税込)
 出版社：22世紀アート



医局で一休み 下巻
 著者：板野 聡 (学28期)
 価格：電子書籍版 ¥1,000 (税込)
 POD版 ¥2,046 (税込)
 出版社：22世紀アート
 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-23-1-5F
 TEL 03-5941-9774 E-mail: info@22art.net
 ホームページ <https://www.22art.net>
 書籍の買い方、読み方はホームページをご覧ください。

このたび、「臨床外科」(医学書院)に掲載して頂いておりましたエッセイ「コーヒーブレイク」と「1200字通信」をまとめて出版することにいたしました。

「あとがき」にも記しましたが、15年という長期間、よく続いたものだと我ながら感心している次第ですが、2020年12月号で掲載を終了することになり、このまま散逸させるのは忍びなく、書籍化して残すことにしました。自分の生きた証くらいにはなるのではないかと考えています。

医学書院様にも相談しましたが、こうした内容の出版は扱っておられないとのことで、拙著「貴方の最期、看取ります」でお世話になりました22世紀アート様にお問い合わせすることになりました。ベースは電子書籍ですが、紙媒体を希望される場合には POD 書籍という形式でご提供できるシステムですが、なにぶん量が多く、上下の2巻になりました。

ご覧いただけると幸いです。
 板野 聡 (学28期)



新聞切抜



オンラインで取材に応じる
 茂松茂人・大阪府医師会長

変異株の急速な広がり想像つかず

大阪医療危機10
インタビュー
新型コロナウイルス
現場から

新型コロナウイルスの流行で、大阪では病床が逼迫した。入院したくてもできない患者が増える中で、なぜ病床を増やせなかったのか。府医師会の茂松茂人会長に聞いた。(取材は5月20日)

「なぜ病床を増やせないのか。日本全体の問題ですが、中小の病院が非常に多い。例えばCT(コンピュータ断層撮影)、エレベーターが一つだけ、(コロナ)の患者を入れたらゾーニングができません。それでは集団感染するということがあって、感染症、ベッドに切り替えられない」

「公立病院とか500床あるところは、コロナ専用で病床を切り替えることも可能かもしれない。日本の危機管理として、感染症を始めたときの有事の医療について、非常に遅れていたことがあからさまになったと思っています」

「府医師会はどう動いていたのでしょうか。」「電話を中心としたオンライン診療で患者さんと話をし、少しでも安心したく、また薬を処方するなどには行っていました」

「変異株の影響は。」「若い人も重症になり、いったんかかると回復にすぐ時間が掛かります。その分ベッドが押さえられます。大阪は施設に入っている方が、積極的な治療ができずに亡くなったということが多い。今後、その検証をきちんとしないとダメです」

新聞切抜

子なび
皮膚のトラブル
 皮膚が内出血で紫色に見える「紫斑」。原因は様々ですが、止血の際に関わる血管、血小板、血液を固めるたんぱく質(凝固因子)という3要素いずれかの異常で生じます。病気のサインかもしれないので要注意です。

打撲後の内出血は、いわゆる「青たん」で、血管の破損で生じます。日常生活において経験がある方も多いでしょう。学童期に、すねを中心に数ミリ・以上の少し盛り上がった紫斑が見られれば、「IgA血管炎

「紫斑」病気のサインかも
 (ヘノッホ・シェーンライン紫斑病)を疑います。この病気では、細菌やウイルスへの感染などをきっかけとする特殊な免疫反応で皮膚の血管が炎症を起こし、紫斑が生じます。皮膚症状のみならず、関節が痛くなったり、腸管や腎臓の血管にも病変を起したりするところがあるので、重症な場合には入院治療が必要で、盛り上がりのない大小の紫斑が、口の中を含めて体のあちこちに現れた場合は、血小板が減って出血しやすくなる難病の「特発性血小板減少性紫斑病」や、血液がんの白血病など重大な小児科疾患の兆候かもしれません。血小板、凝固因子を含めた全身の精密検査を行います。子ども本人から、けがをした

とは聞いていないのに全身に紫斑が広がれば、いじめや虐待に遭った可能性もあります。外見で見かけることは非常にまれですが、何らかの小児科疾患の存在も否定された時は、親に学校の担任と相談するよう促したり、他に外傷がないかチェックしたりするほか、親子それぞれへの問診も慎重に行います。紫斑がなかなか治らないか、再発を繰り返すなら皮膚科医か小児科医に相談してください。

◆ 皮膚のトラブルでは、大阪医科大学大の森脇真一教授(59)が写真

◆ 聞き手・東礼奈
 ※子なびは毎月第2、第4水曜日に掲載します。
 2021年3月10日(火)付けの
 読書新聞夕刊に森脇真一先生(学35期)の記事が
 掲載されました。

◆ 聞き手・杉浦奈実、明薬麻子
 ◆ おわり
 2021年6月11日(金)付けの
 朝日新聞に茂松茂人先生(学27期)の記事が
 掲載されました。

冊子 切抜

心を蝕む孤立と孤独



西松 能子

立正大学心理学部教授・博士(医学)、大阪医科大学医学部卒業後、公徳会佐藤病院精神科医長、日本医科大学附属千葉北総病院神経科部長、コーネル大学医学部ウェストチエスター部門客員教授を経て現職日本総合病院精神科医学会評議員、日本サイコセラピー学会理事、日本外来臨床精神医学会理事、現在あいクリニック神田にて臨床を行う。

コロナ 孤立と孤独がもたらすもの

連載 よしこ先生のメンタルヘルス

コロナ禍が社会全体のメンタルヘルスの低下をもたらしたことは疑いありません。前回「報告したように、厚生労働省は産後うつ病など、一定の領域について前向き疫学調査を行っています。その中で産後うつ病は10%程度と報告されています。しかし、コロナ禍における筑波大学、おおよそ24%に増加したとのことです。従来調査の2倍以上のことです。調査の中で異口同音に訴えられたことは、孤立と孤独だったということです。孤立と孤独がうつをもたらしたということでしょうか。

この1月に第2子が生まれたAさんは困り果てていました。実家からは「人目があるから今回は里帰り出産を遠慮してほしい」と言われ、第1子を一時保育に預け出産しました。産後10日を経て第1子を引き取りました。産後2週間のお泊り保育です。すっかり赤ちゃん返りした2歳児と、生後2週間の赤ちゃん2人の面倒を見ることは、想像を絶する大変さでした。全く寝られなくなって受診した内科で処方された睡眠導入剤を服用し、やっと一息つきましたが、安心感がありません。夫はコロナ禍でさらに忙しく、朝早くから家を出て夜遅くまで戻りません。助けてほしいとも言えずに泣いてしまいます。ふっと結婚前にハンドワークで疲弊し受診していたメンタルクリニックを思い出して、電話をしてみました。当時の主治医から、「今はコロナだから電話でお薬も処方できるけど、少しケイスターカーさん何から手伝えることがあるか教えてもらいましょ」とつながりました。PSWからは、子育て緊急サポート事業を紹介され、「もう一度、上のお子さんを預かってもらうこともできますよ」と言われ、帰ってきたから赤ちゃん返りを考えると、気が進まず、「預かり保育は考えていません」と答えました。しかし、何かあればサポートしてもらえると知って、少し救われた思いでした。クリニックへの一本の電話でAさんは一人ではない、支えてくれる人がいると思えました。

孤立と孤独はうつや不安をもたらします。元来、人は群れで暮らし、コロナ禍の今もヒトは仲間を必要としています。しかし、実際には、社会全体で人との接触を避けねばなりません。頭では分かっているのですが、孤立と孤独が心を蝕みます。会いたい人とも会えません。実家でさえ立ち寄ることは難しくなっています。いつも学校帰りに立ち寄っていた孫さもおはあちゃんちに立ち寄りに行くなくなっています。人と接することで分泌されるオキシトシンは人を幸せにするといわれています。すっきり出番がありません。

コロナ禍でも生き生きと暮らすために、今できること

孤立と孤独はうつや不安をもたらします。元来、人は群れで暮らし、コロナ禍の今もヒトは仲間を必要としています。しかし、実際には、社会全体で人との接触を避けねばなりません。頭では分かっているのですが、孤立と孤独が心を蝕みます。会いたい人とも会えません。実家でさえ立ち寄ることは難しくなっています。いつも学校帰りに立ち寄っていた孫さもおはあちゃんちに立ち寄りに行くなくなっています。人と接することで分泌されるオキシトシンは人を幸せにするといわれています。すっきり出番がありません。



「ドクターズプラザ5月号 VOL.154」に西松能子先生（学28期）の記事が掲載されました。

大阪医科大学女性医師の会の皆さまへ

木々の葉も緑の濃さを増し、好季節の今日この頃ですが、皆さまには日々コロナ対応でお忙しくお過ごしのことと存じ上げます。なかなかリアルにお目にかかれませんが、今回はうれしいニュースをお届けいたします。

先生方もご承知のように、まだ日本では女性の社会進出は低くジェンダー指数は世界156国中、120位とG7の中では最下位という状況にあります。そのような中、ガラスの天井を打ち破り喜田照代先生が教授にご就任なさいました。大阪医大の女性医師皆にとり誇らしい出来事であり、後に続く若い女性医師に対しては「頑張れば夢は叶う」と大きな希望を与えています。喜田照代先生から女性医師の会にご寄稿をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

代表世話人：福本敏子（学24）
連絡先：仁泉会事務局
TEL：072-682-6166 E-mail：jimu@jinsenkai.net

ご挨拶

学45期 喜田照代

女性医師の会の先生方にはいつもお世話になりましてありがとうございます。2021年4月1日付をもちまして、大阪医科薬科大学医学部感覚器機能形態医学講座眼科学教室教授を拝命致しました。甚だ微力ではございますが、母校の発展と教室の充実のために専心努力する所存です。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

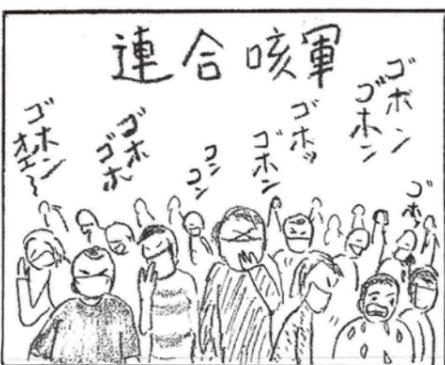
私は1996年大阪医科大学を卒業し、東郁郎先生主宰の本学眼科へ入局しました。私の学生時代や研修医として働いていた頃に比べますと、本学におきましても女性の学生や医師もかなり増加しており、歴史を重んじることはもちろん重要ですが、皆で時代の流れに順応していくことも大切かと思えます。近年、働き方改革に従い、大学でも時短勤務など柔軟な働き方を選択できるよう改善されつつありますが、現実には、医療現場で働く故のいくつもの壁があります。本学でも男女共同参画やダイバーシティも視野に入れ、将来的にはセンターの名称も変わるかもしれませんが、2018年女性医師支援センターが設置されました。私自身は、今から15年以上前のことですが、留学先のボスにARVOという国際学会のDiversity Issues Committee委員をするように言われ、アメリカの事情が日本とあまりにも違い、よくわからないまま担当していましたが、いま、女性医師支援センターの毎月の会議で女性医師からの声やアンケート結果等を拝見し、考えさせられるものがあります。今となっては若気の至りだったのかもしれませんが、あのとき何事においても諦めずチャレンジして良かったと留学先のボスにも感謝しています。

新型コロナウイルス感染拡大により前途多難の船出となりましたが、気持ちを新たに、より良いチームワーク・国際化を目指して、自ずと人が集まる、プロアクティブな開かれた教室にしたいと思えます。女性医師の先生方のパワーを信じております。今後とも何卒ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

まんが第50回スペシャル・空前の4ページ

ザ・ぼん太 (学31期)

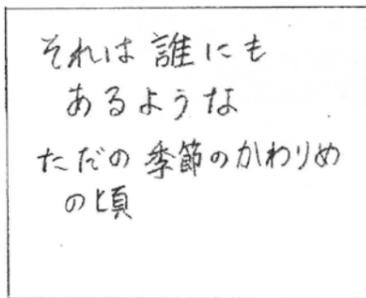
怖いもの



二るい

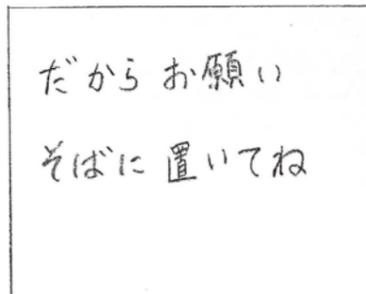


古い歌5



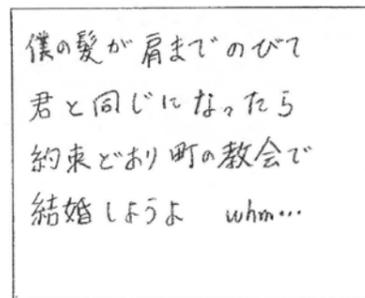
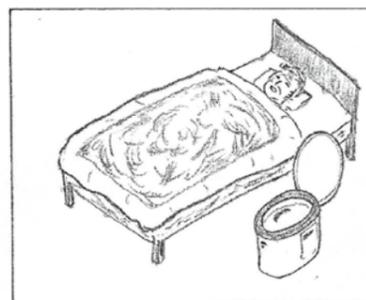
空に星があるように

荒木一郎



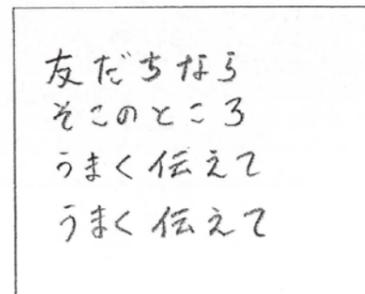
時の流れに身をまかせ

テレサ・テン



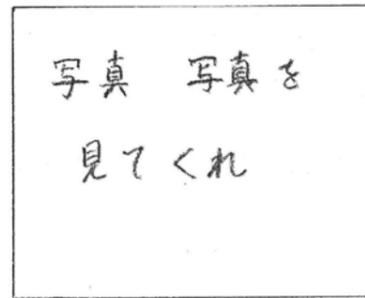
結婚しようよ

吉田拓郎



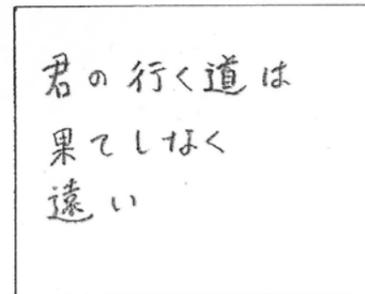
ジョニーへの伝言

ペドロ&カプリシャス



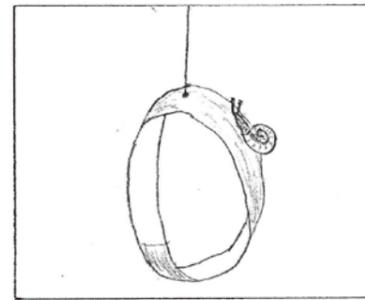
木綿のハンカチーフ

太田裕美



若者たち

ブロード・サイド・フォー



本部だより 会員訃報

次の会員が亡くなりました。
慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医19期 横山重孝先生

令和3年4月2日慢性呼吸器不全の急性悪化の
為ご逝去（92歳）。昭和25年卒。

卒業後、吹田市相川診療所、箕面病院内科等
に勤務されました。昭和34年6月より大阪府池田
市にて奥様と共に内科小児科医院をご開業になり、
平成15年6月までのながきに亘り地域医療に
貢献されました。兵庫県加古川市に転居された
後は、クルーズ船での世界旅行、麻雀、社交ダ
ンス等を楽しみ、悠々自適の生活を送られました。
ご遺族 長女 兜坂 泉様（学32）

学部3期 音田 篤先生

令和3年3月11日肺がんの為ご逝去（93歳）。
昭和29年卒。

大阪府泉南郡熊取町にて内科・精神科をご開
業になり、地域医療に尽力されました。昨年まで
町の委員もお務めになられるなど、生涯現役で
過ごされました。

ご遺族 娘 室谷牧子様

学部5期 加藤修一先生

令和3年1月21日直腸がんの為ご逝去（89歳）。
昭和31年卒。

加茂病院でのご勤務を経て、昭和49年に豊田
市にて加藤内科医院をご開業になり、令和2年ま
での46年間地域医療の為に尽くされました。（現
在はご長男が医院を継承。）また、平成6年4月
より豊田加茂医師会会長、平成10年4月より豊
田加茂医師会監事、平成14年4月より日本医師

会代議員を歴任され、平成20年4月には豊田加
茂医師会名誉会員になられました。平成22年1
1月に旭日双光章を、令和3年2月には従六位を
受章されておられます。

ご遺族 長男 千博様

学部13期 安形 篤先生

令和3年3月14日誤嚥性肺炎の為ご逝去
（85歳）。昭和39年卒。

昭和44年に大学院を卒業後、母校胸部外科に
入局され、昭和46年に学位（医学博士）を授
与されました。同年、東大阪市東長原病院外科
に医長としてお勤めになられた後、昭和49年7月
に愛知県豊川市一宮町にて安形医院を開設、
平成6年4月には特別養護老人ホーム穂の国荘
を開設され、平成22年7月にご長男に継承され
るまで、長年地域医療に貢献されました。また平
成25年4月には藍綬褒章を受章されておられま
す。

ご遺族 妻 節子様

学部16期 佐々木 学先生

令和3年1月19日転移性肺がんの為ご逝去
（79歳）。昭和42年卒。

枚方市民病院・胸部外科でのご勤務の後、平
成7年に高槻市にて「ささき医院」を開院され、
地域医療に尽力されました。

ご遺族 妻 正美様

学部18期 村尾道蔵先生

令和3年4月3日膀胱がんの為ご逝去（80歳）。
昭和44年卒。

昭和39年に大阪薬科大学を卒業されました。昭
和44年に卒業後、奈良県生駒総合病院でのご
勤務を経て、昭和55年に豊中市にて村尾診療
所（外科・胃腸科）をご開院になりました。平
成2年には医学博士を取得され、地域医療の為
につくされました。

ご遺族 妻 晃子様

学部19期 川端智津子先生

令和3年4月8日乳がんの為ご逝去（76歳）。
昭和45年卒。

高槻市にて内科・小児科をご開業になり、地域
医療に貢献されました。

ご遺族 夫 治夫様

学部27期 河村 宏先生

令和3年3月27日虫垂がんの為ご逝去
（69歳）。昭和53年卒。

卒業後、母校第一内科に入局されました。
京田辺市にて河村内科医院をご開業になり地
域医療に携わっておられました。

ご遺族 長男 佑太朗様（学63）

お詫びと訂正

令和3年5月1日発行第52巻3号仁泉会ニュースに誤りがございました。
誌面をお借りしてお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

会員訃報（41頁）右段27行目

誤 学部6期 水野理晶先生 → 正 学部6期 水原理晶先生



ハードルをジャンプ!!

地元で 50年

薬袋・診察券・カルテなどの

医療印刷

タツミ印刷株式会社

お気軽にご相談下さい。

池田・高槻
tel: 072-761-8434

◎内科系常勤医募集

◆週4-5日、外来メイン ◆駅から徒歩8分 ◆女性・シニア活躍

募集科目：小児科または内科
 業務内容：外来、健診、予防接種、生活指導
 年収：1500～1800万円 応相談
 勤務日数：週4-5日 応相談
 勤務時間：月火木金 9:00-12:00、16:00-19:00
 土 9:00-12:00
 休日：日祝日、盆休み・年末年始各1週間
 定年制：あり(定年60歳、再雇用で70歳まで可)
 退職金：あり
 保険：健康保険、厚生年金、雇用保険、自賠責保険
 入職時期：即日可



医療法人社団 宮崎クリニック

〒664-0882 兵庫県伊丹市鈴原町4-4-1 ☎072-777-0045
 E-mail…qqhc5ah9@sweet.ocn.ne.jp HP…https://miyazakclinic.jp
 担当…操真紀(みさお まき)

テナント募集

- ◆賃料…170,000円
- ◆保証金…100万円(50万円引き)
- ◆所在地…大阪市都島区都島北通1丁目3番18-206号

地下鉄都島駅
徒歩3分



大黒建設株式会社

お問い合わせ先
 〒572-0042 大阪府寝屋川市東大利町14-30
 TEL.072-826-2302 FAX.072-829-1470

編集部より

会費納入のお願い

年会費
 令和3年度 10,000円
 令和2年度 10,000円
 令和元年度 10,000円
 納入のご協力をよろしくお願い致します。
 事務局 会計係

編集後記

6月27日に母校において仁泉会総会が開催されました。COVID-19流行の影響で当初は5月に開催予定でしたが延期になっておりました。また限られた人数での開催になってしまいましたが、総会議事も滞りなく行われました。ご承知のように、母校は今春より大阪医科薬科大学として新たな歩みを始めました。その一期生の入学式も執り行われており、詳しくは本号に掲載しております。さて一般社団法人大阪医科大学仁泉会が現在の正式名称です。今般の母校合併に伴い、名称をどうするかが総会や理事会で話題になっ

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。ご投稿お待ちしております。
 ●52巻5号(令和3年10月1日発行)
 締切 令和3年8月末日
 ●52巻6号(令和3年12月1日発行)
 締切 令和3年10月末日
 ●送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7
 E-mail:jimu@jinsenkai.net FAX:072-682-6636

ております。会員については当面医学部卒業生や大学勤務医師に限定する予定です。名称についてはもう少し検討を行ってから決定することになりました。名称変更には、会員諸氏による定款変更が必要です。その際には定足数を満たすことが条件になりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

(治)

補助金も適用出来ますのでご相談ください

患者様・スタッフの安心と安全のために

病院・クリニックの除菌・抗菌サービス

作業料金	25㎡以下 30,000円	26～50㎡ 60,000円
	50～150㎡ 1,200円/㎡ 150㎡以上別途お見積り	

病院・診療所・薬局・訪問看護ステーションも対応可能

3ヶ月 抗菌持続で長く安心

天然成分で健康被害なし

施工後、ウイルスの数は激減!!

信頼あるキョーマンバイオケミファ(株)の測定器で調査すると施工後50分でこんなに数値が変動します。

FDA SGS

NaturaCoat 除菌工房 株式会社エース

お気軽にお尋ねください! tel.0120-25-1030

にっこり とそう